

令和6年度  
国への提言・提案  
(県土整備部関係分)

令和5年4月



三重県

着実に進む社会資本整備

# 感謝

三重県知事  
一見 勝之

国土強靱化予算により社会  
資本整備が加速しています。

令和5年度予算 795億円  
(うち国土強靱化予算 135億円)

※県土整備部令和4年度1月補正予算含みベース

令和4年度 川上ダム 完成



伊賀市

令和5年度 中勢バイパス 全線開通予定



至 四日市市

至 津市

鈴鹿市

令和5年3月 東海環状自動車道 県境トンネル工事着手



令和6年度 北勢IC(仮称)~大安IC間 開通予定  
令和8年度 全線開通予定

いなべ市

新宮紀宝道路 熊野川河口大橋 上部工架設



紀宝町

熊野川河口大橋

熊野川

令和6年秋頃開通予定

祝 国道42号 紀宝熊野道路中心杭打ち式



令和5年1月 紀宝熊野道路 中心杭打ち式

令和5年度 津松阪港直轄海岸 全工区整備完了予定



阿漕浦・御殿場地区

四日市港81号耐震強化岸壁 地盤改良工事の推進



令和8年度完成予定

四日市港霞ヶ浦地区

令和5年3月 雲出川水系中村川等 特定都市河川の指定

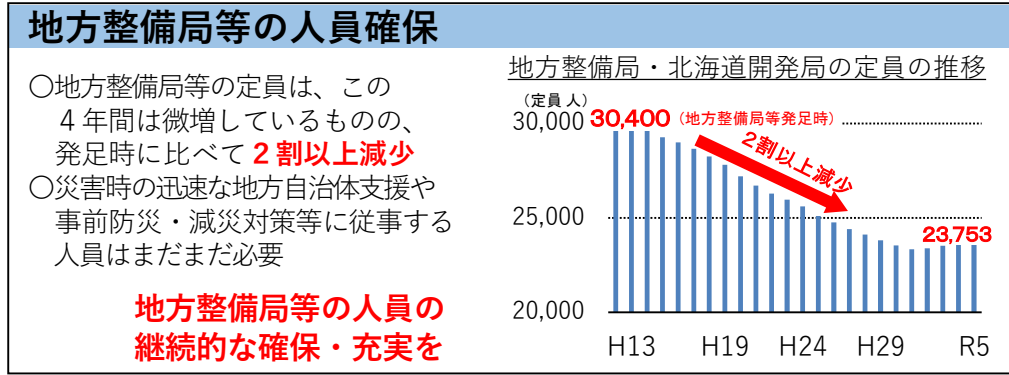
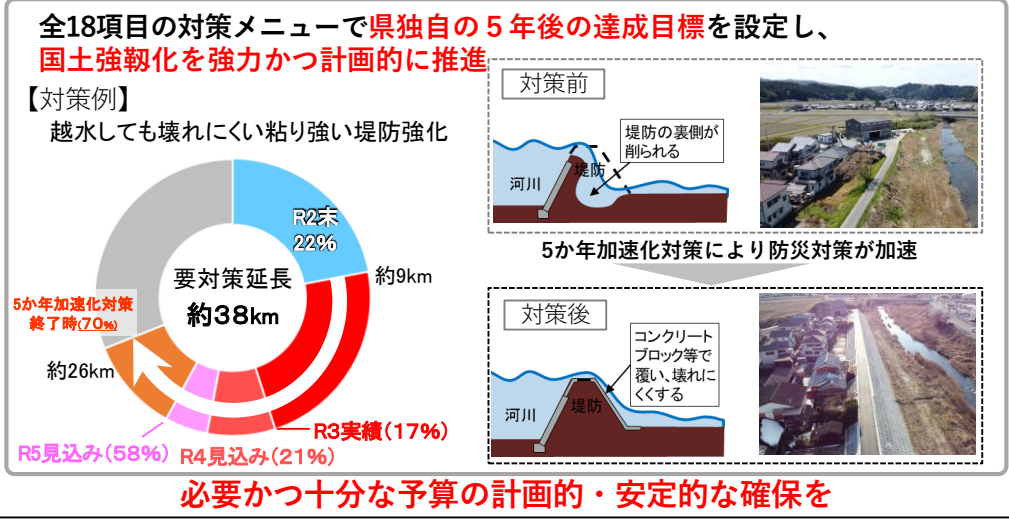
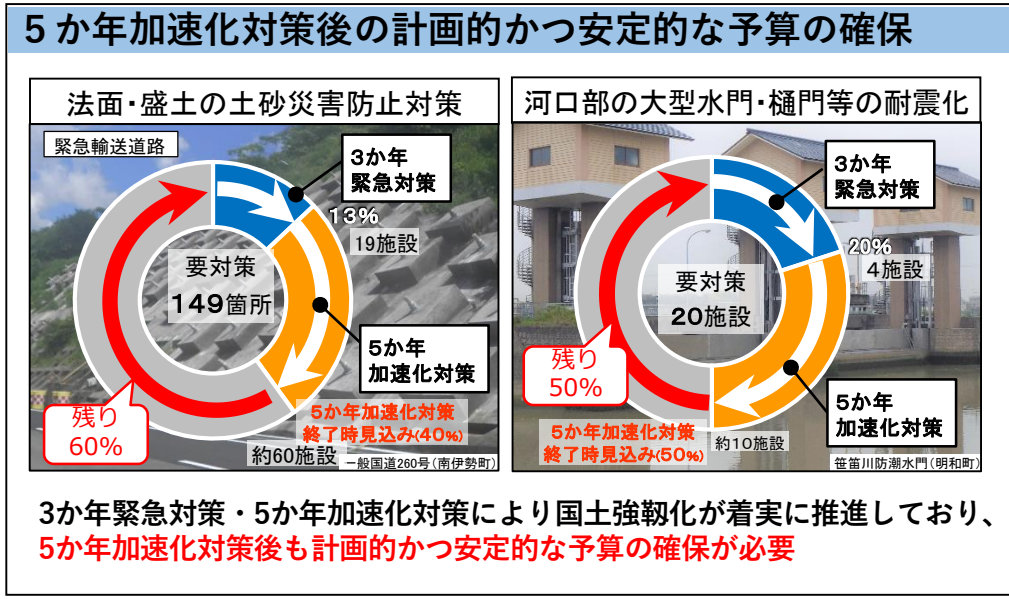
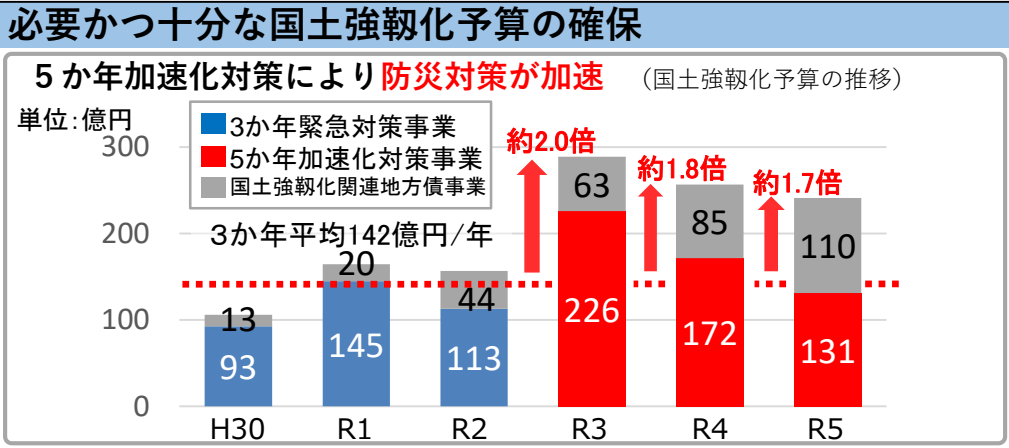


流域水害対策推進表明書取交式

# 1 災害に屈しない県土づくりのための防災・減災、国土強靱化の強力かつ計画的な推進 防災・減災、国土強靱化の強力かつ計画的な推進、地方整備局等の人員の確保・充実

提言内容

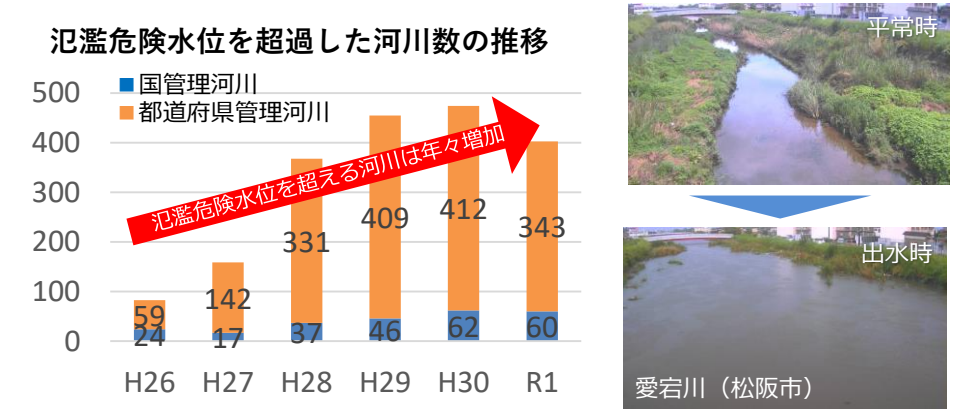
- 1 地方自治体が中長期的な見通しのもと、強力かつ計画的に防災・減災、国土強靱化を推進するため、**現下の資材価格の高騰等も踏まえ、必要かつ十分な予算を確保**するとともに、5か年加速化対策後も、引き続き、必要な予算・財源を**計画的かつ安定的に別枠で確保**すること。
- 2 災害発生時における地方自治体への迅速な支援に加え、地域の防災・減災、国土強靱化を加速化するため、**地方整備局等の人員の確保・充実**を継続的に図ること。



# 1 災害に屈しない県土づくりのための防災・減災、国土強靱化の強力かつ計画的な推進 緊急浚渫推進事業など地方債の延長

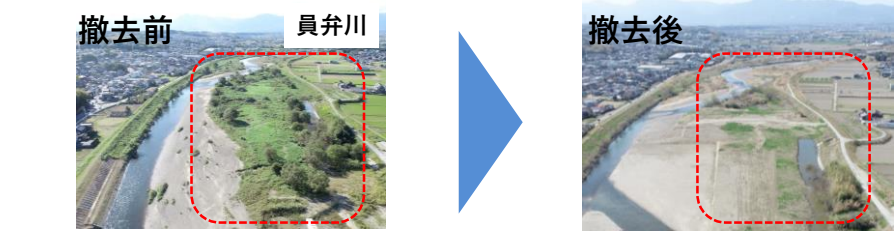
**提言内容** 地方自治体が国土強靱化に資する対策を円滑に進められるよう、**緊急浚渫推進事業**や緊急自然災害防止対策事業、緊急防災・減災事業等の**地方債の延長**を図ること。

## 緊急浚渫推進事業を活用した堆積土砂撤去の加速



県管理河川の氾濫の危険性が高まるなか、市町や県民から堆積土砂撤去の要望が強かったが、予算の確保に苦慮していた。

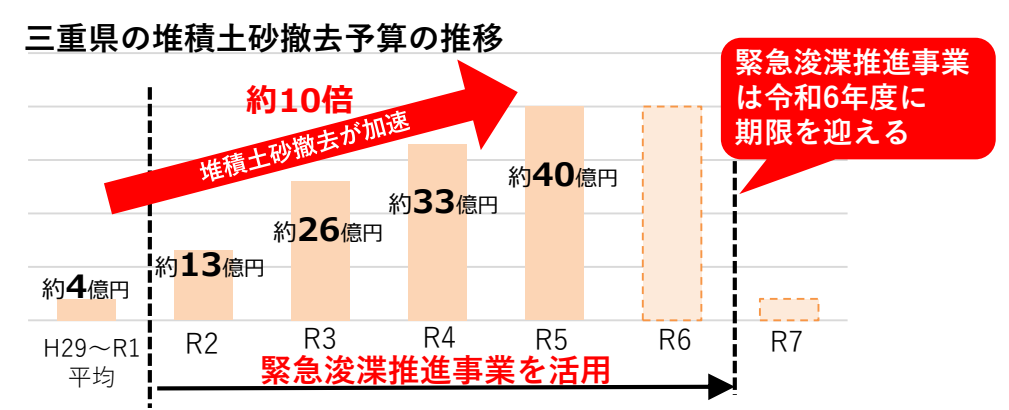
⇒令和2年度に緊急浚渫推進事業を創設いただきました



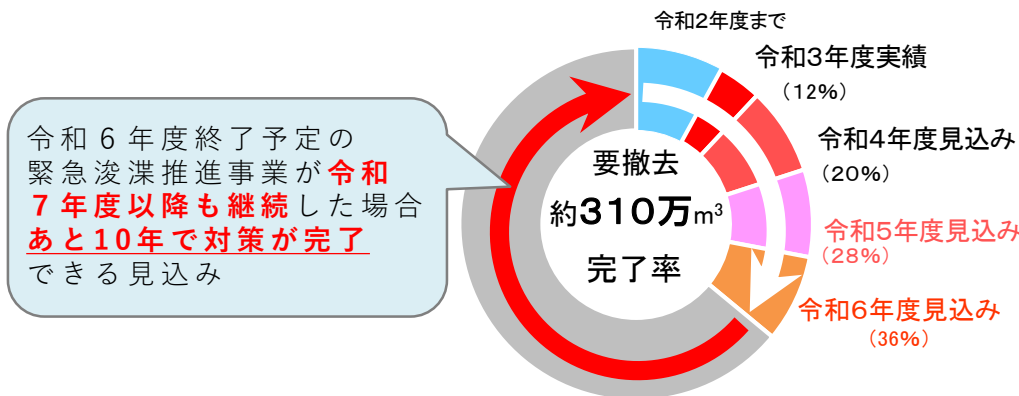
**地域の声**

- ・効果が目に見えて分かり、皆がすごく喜んでます！（市議会議員）
- ・どんどん撤去が進み、私の地域も早くしてもらえると期待しています（住民）
- ・これからも事業を活用して、地域の要望にしっかり応えて下さい！（首長）

## 国土強靱化の推進に必要な地方債の延長

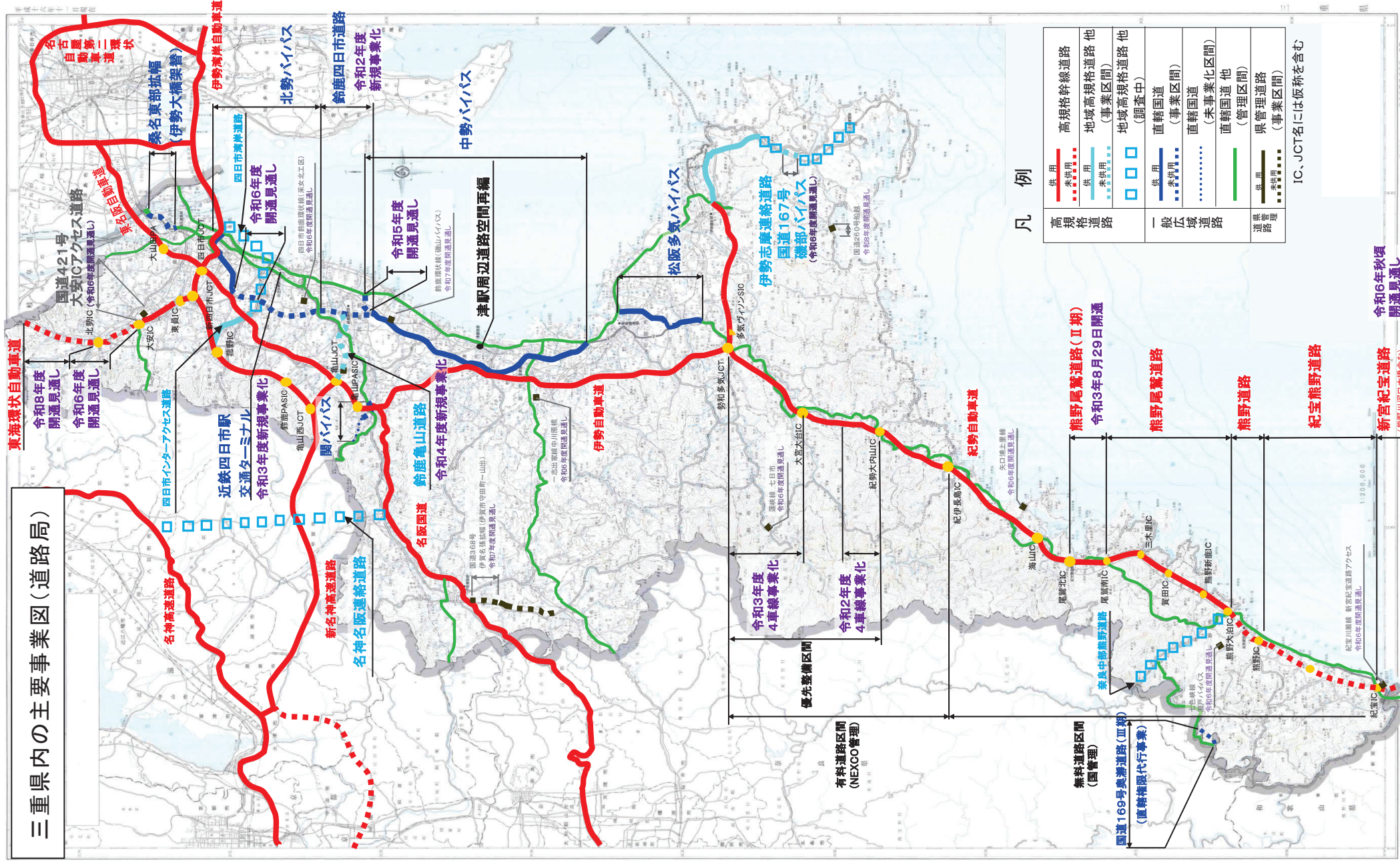


→緊急浚渫推進事業を活用して堆積土砂撤去が加速する中、緊急浚渫推進事業など**地方債の終期が迫っている！**



**対策の完了に向けて緊急浚渫事業等の更なる延長が必要**

# 三重県内の主要事業図(道路局)



## 凡例

高規格道路	供用	高規格幹線道路
一般広域道路	未供用	地域高規格道路 他
道県管理	供用	地域高規格道路 (事業区間)
道県管理	未供用	地域高規格道路 他
道県管理	供用	直轄国道 (調査中)
道県管理	未供用	直轄国道 (事業区間)
道県管理	供用	直轄国道 (未事業化区間)
道県管理	未供用	直轄国道 他 (管理区間)
道県管理	供用	県管理道路
道県管理	未供用	県管理道路 (事業区間)

IC、JCT名には仮称を含む

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)  
令和3年8月29日開通

熊野尾鷲道路

熊野道路

紀伊熊野道路

新宮紀伊道路  
(熊野川河口大橋含む)

令和6年秋頃  
開通見通し

## 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

### 「命の道」紀伊半島一周高速道路の早期実現、紀勢自動車道および熊野尾鷲道路の4車線化の早期整備

提言  
内容

- 1 地方創生、国土強靱化に資する「命の道」近畿自動車道紀勢線のミッシングリンク解消に向けて**熊野道路**、**紀宝熊野道路**および**新宮紀宝道路**の整備を推進し、**高速道路紀伊半島一周を早期実現**すること。
- 2 **紀勢自動車道**および**熊野尾鷲道路**について、**4車線化事業中区間の早期完成**を図るとともに、**暫定2車線区間の4車線化の早期事業化**に向けて、有料制度の活用など安定的な財源の確保について、地域の意見もふまえ検討すること。

#### 「命の道」紀伊半島一周高速道路の早期実現を！



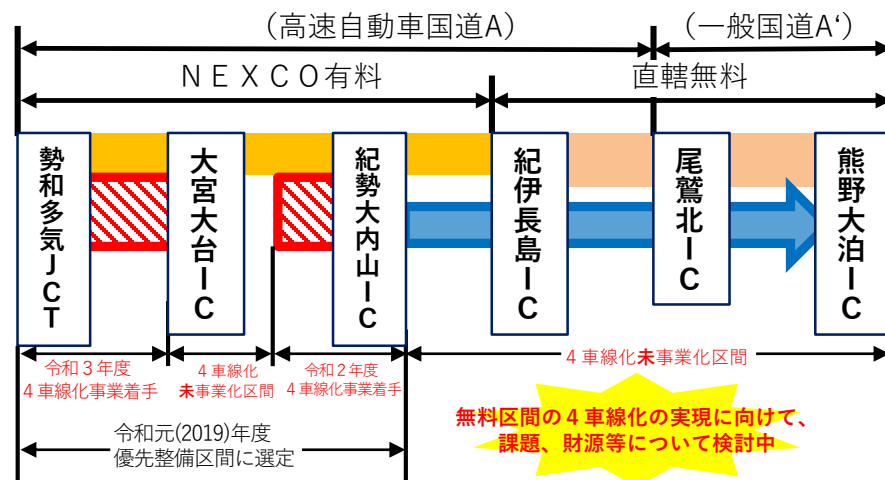
三重県南部は企業の集積が少なく、人口減少率も高い状況のなか、地域ならではの豊かな自然等を生かした**観光**が主要産業

県全体▲2.51%で人口減少、南部では▲14.1%の町も！  
(2015~20国勢調査人口から計算)

→ 観光誘客・交流人口増を支える紀勢線の整備推進を！



#### 紀勢自動車道および熊野尾鷲道路の4車線化早期整備を！



## 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

東海環状自動車道の整備推進、東名阪自動車道大山田PAスマートIC（仮称）の調査推進、新名神高速道路6車線化の早期事業化

- 提言 1 **東海環状自動車道**について、令和8（2026）年度の全線開通に向けて着実に**整備を推進**すること。  
 内容 2 東名阪自動車道**大山田PAスマートIC**（仮称）について、国による準備段階**調査に早期着手**すること。  
 3 **新名神高速道路**四日市JCT～亀山西JCT間の**6車線化の早期事業化**と**財源を確保**すること。

### 中京圏のものづくりを支え、地域活性化に寄与する東海環状自動車道

#### 開通を見越して沿線の観光・産業が活発に

令和4年5月 三重県内  
**用地取得完了!**

令和5年4月3日  
**開業!**

#### アウトドアフィールド 「Nordisk Hygge Circles UGAKEI」

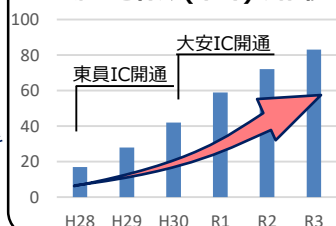


デンマーク発のHygge（ヒュッゲ）を体感できるアウトドアフィールド

大安IC、北勢ICからアクセスが良く、多くの利用者の来訪を期待しています。  
いなべ市担当者の声

※Hygge（ヒュッゲ）：豊かな時間の過ごし方や暮らし方、心の持ち方

#### 工場立地件数(累計)の推移（三重県北勢地域）



平成28年以降  
**83件が新規立地**

北勢ICの完成を見越して工場を立地しました。1日も早い開通を期待しています。

立地企業の声

#### 全線開通に向けて工程の要となる県境トンネル工事

令和5年3月 **三重県側トンネル工事に着手!**

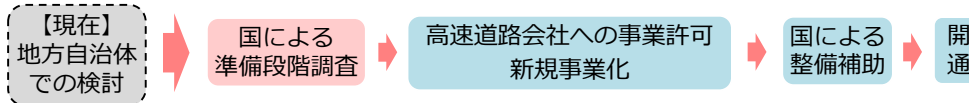


着実に進むトンネル坑口周辺工事



### 産業活動を支援し、防災機能を強化する東名阪大山田PAスマートIC(仮称)

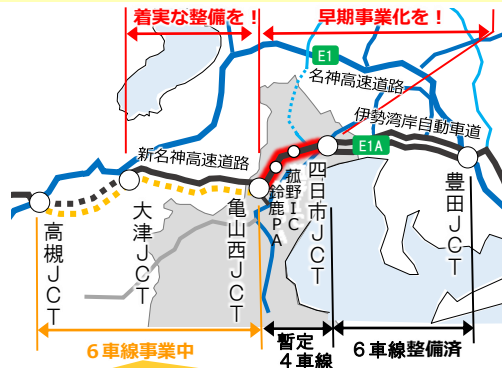
#### 国による準備段階調査の早期着手を



- 現在の状況
    - ・桑名市において計画検討・調整段階
    - ・関係機関で必要性の確認に向けた勉強会を実施中
  - スマートICの整備効果
    - ・工業団地から高速道路への**アクセス向上**が図られ、**物流の効率化**や更なる**企業立地**を期待
    - ・浸水区域を迂回する高速道路のアクセスルート確保により、**防災機能が強化**
- ※SICを含む土地区画整理事業（組合施行）を予定

### 物流の効率化に寄与し、生産性向上に資する新名神高速道路

#### 四日市JCT～亀山西JCT間の早期6車線化と財源の確保を



令和4年3月、7月、令和5年3月に順次  
**片側3車線が一部完成!**

#### 新名神沿線の土地活用が活発に!



# 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進 鈴鹿亀山道路の予算確保及び有料道路事業の活用など整備手法の検討支援

**提言内容** 鈴鹿亀山道路について、早期整備等のため必要な予算を確保するとともに、有料道路事業の活用など整備手法の検討を支援すること。

## 三重県のさらなる産業発展を支え、災害時に機能する鈴鹿亀山道路



**整備効果**  
 【高速道路へのアクセス性向上】  
 ・鈴鹿市街地から亀山JCTまで  
 40分⇒15分（約25分短縮）※混雑時  
 【防災性の向上】  
 ・鈴鹿市周辺の国道1号・23号では津波浸水による寸断が想定されるが高速道路から沿岸部へのルート確保で、  
 迅速な復旧・復興が可能に！

リニア三重県駅開駅を見据えた道路整備

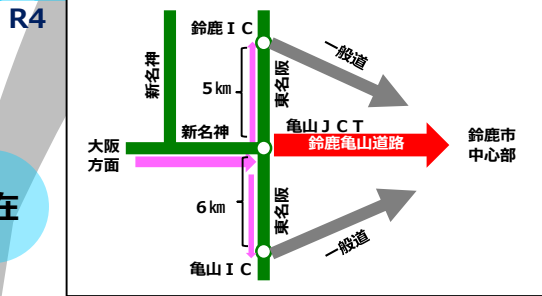
### 現在の取組内容

**R6 ■ 早期整備に向けた調査設計**  
 ・令和6年以降 用地買収に着手予定

**R5 ■ 事業推進体制の強化** ・令和5年4月から建設事務所に「鈴鹿亀山道路課」と「鈴鹿亀山道路用地課」を新設

**■ 早期整備のための整備手法の検討**  
 ・有料道路事業の活用の検討など

**■ 早期整備に向けた調査設計**  
 ・令和5年 用地測量、予備設計を推進



**■ 事業説明会の開催**

令和5年1月31日  
鈴鹿市労働福祉会館

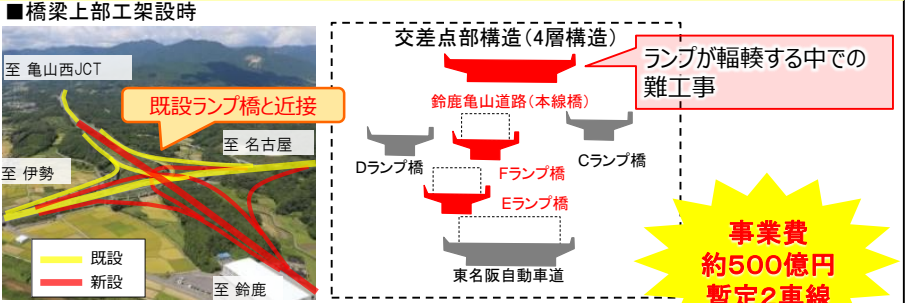
令和5年2月1日  
亀山市文化会館

**■ 広報活動**  
 ・Youtube 「すずかめちゃんねる」開設！

**■ 早期整備に向けた調査設計**  
 ・UAV (ドローン) による地形測量に着手し、大幅に工期を短縮

UAV (ドローン) による測量

**【課題】 早期整備が必要であるが、技術的難易度が高い構造物が多く事業費が多額**



**事業費 約500億円 暫定2車線**

現在

令和4年度 新規事業化 <県管理道路として整備>



## 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

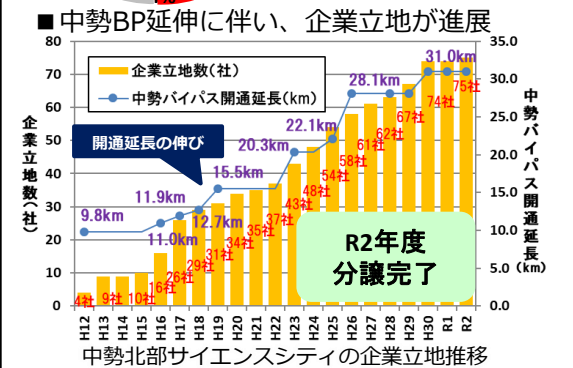
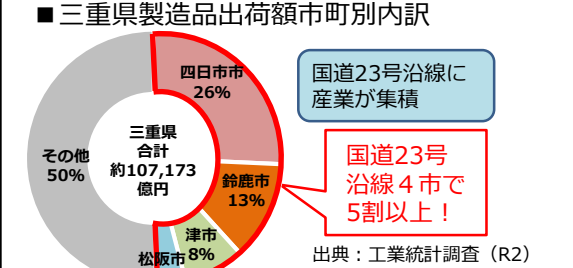
国道23号鈴鹿四日市道路の整備推進、国道1号北勢バイパスの全線開通に向けた整備推進、国道23号中勢バイパスの暫定供用区間の渋滞緩和対策（立体化・4車線化）の推進

- 提言内容
- 1 国道23号鈴鹿四日市道路の整備を推進すること。
  - 2 国道1号北勢バイパスの全線開通に向け整備を推進すること。
  - 3 令和5年度に全線暫定開通予定の国道23号中勢バイパスについて、暫定供用区間の渋滞緩和対策（立体化・4車線化）を推進すること。

### 南北主要幹線道路のダブルネットワーク化が地域課題の解決につながる北勢バイパス、鈴鹿四日市道路、中勢バイパス



#### 社会経済活動の基盤となる道路



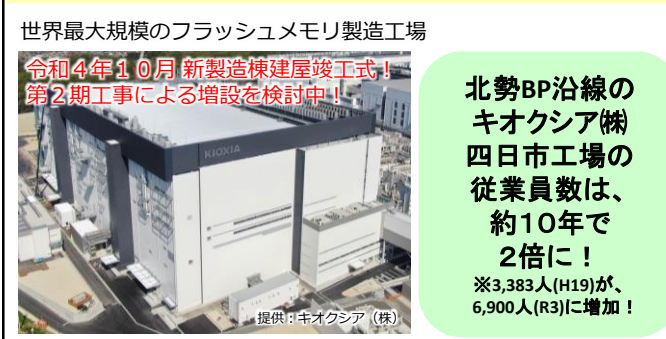
#### 国道23号等の慢性的な渋滞解消が急務



#### ダブルネットワーク化によるルートの確保



#### 北勢BP開通を見越し、企業立地が活発に



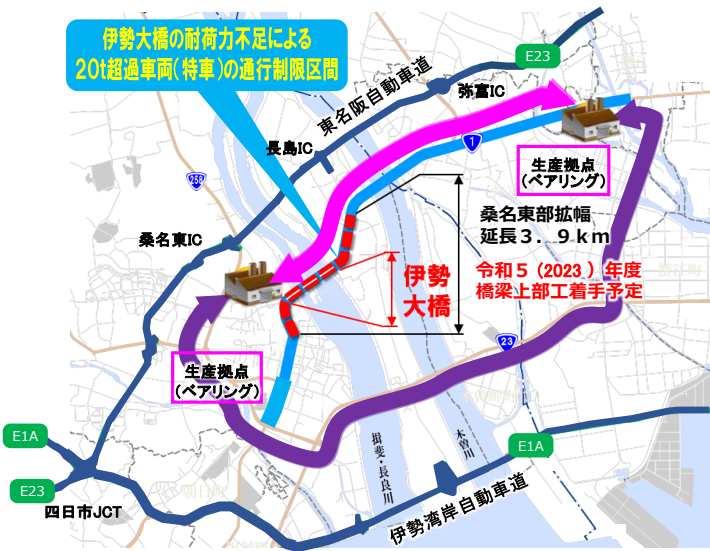
## 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

### 国道1号桑名東部拡幅（伊勢大橋架替）および国道42号松阪多気バイパスの整備推進

- 提言内容**
- 1 **国道1号桑名東部拡幅**の老朽化著しい伊勢大橋の架替について、着実に**整備を推進**すること。
  - 2 **国道42号松阪多気バイパス**の朝田町南交差点立体化について、着実に**整備を推進**すること。

#### 物流の効率化・産業振興に大きく寄与する 国道1号桑名東部拡幅(伊勢大橋架替)

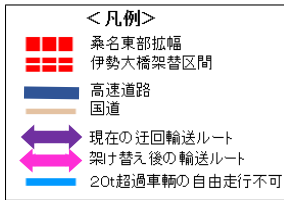
##### 重量制限解除で大幅な物流効率化を実現



伊勢大橋架替後の  
輸送ルート  
往復50分

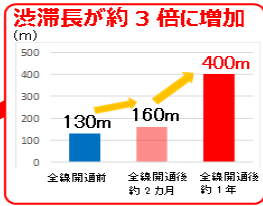
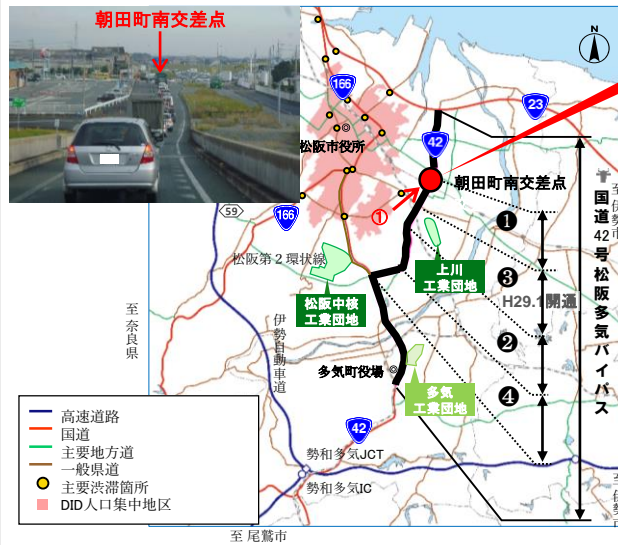
約2割  
削減

往復60分  
現在の迂回輸送ルート  
(通行制限区間を迂回)



#### 朝田町南交差点の立体化で企業の生産性向上に寄与する 国道42号松阪多気バイパス

##### 既開通区間の渋滞を解消

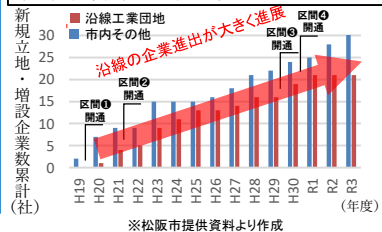


立体化整備推進により

生産性向上に寄与

##### 松阪多気バイパス沿線工業団地の企業進出状況

沿線工業団地: 松阪中核工業団地・上川工場団地  
市内その他: 松阪市内の工業団地等



##### 着実に整備が進む橋梁工事



- ・ 令和5年度の上部工着手に向け、
- 14基の下部工が完成済。  
3基の下部工を施工中。

着実な整備推進を！

##### 着実に整備が進む橋梁工事



- ・ 令和5年度の上部工着手に向け、

19基の下部工が完成済。  
2基の下部工を施工中。

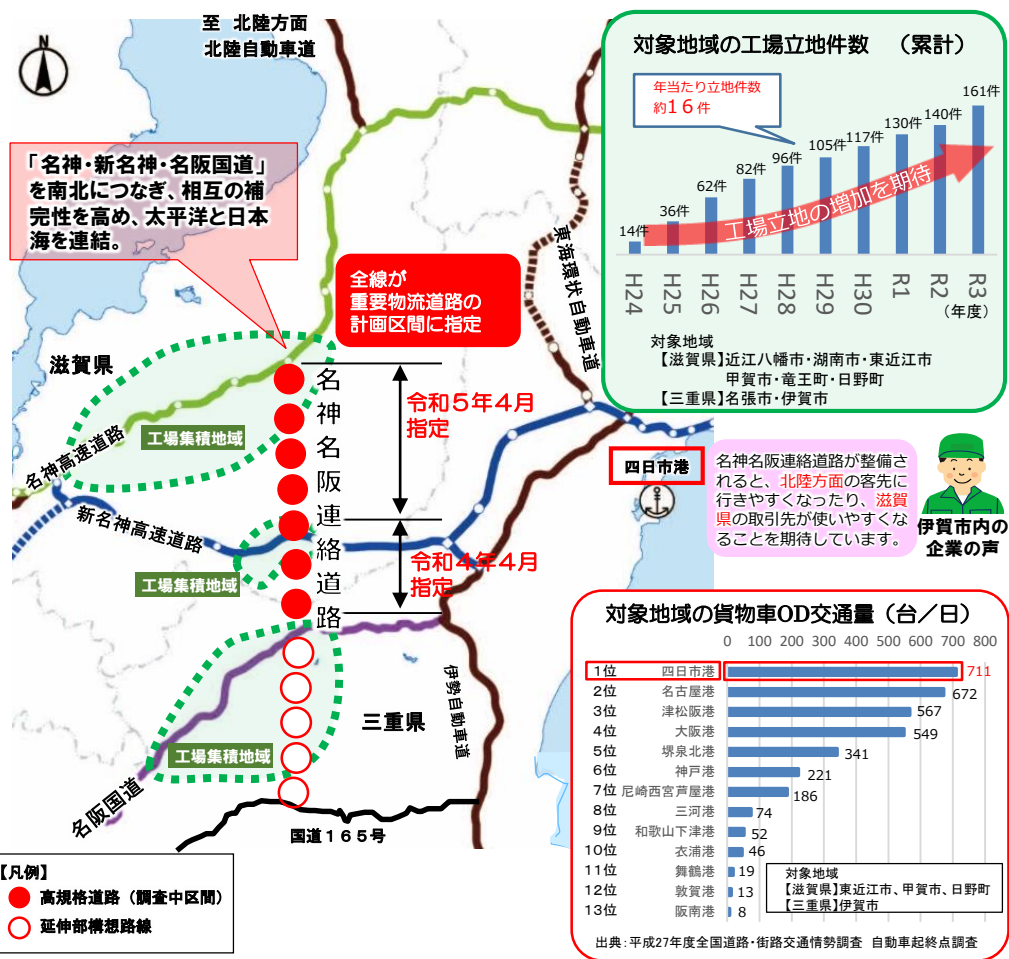
残り1基の早期発注を！

# 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進 名神名阪連絡道路の計画の具体化

提言内容 **名神名阪連絡道路**について、**連携してルート帯の決定など計画の具体化**を図ること。

## 南北の広域ネットワーク構築により産業発展を支援する 名神名阪連絡道路

### 三重・滋賀の工場集積地の物流ネットワークの構築



### 災害時のリダンダンシーの確保



### 構想段階PIに着手

地域の方や道路利用者の方から、広く意見を聞くため住民説明会やオープンハウス、アンケート調査を実施



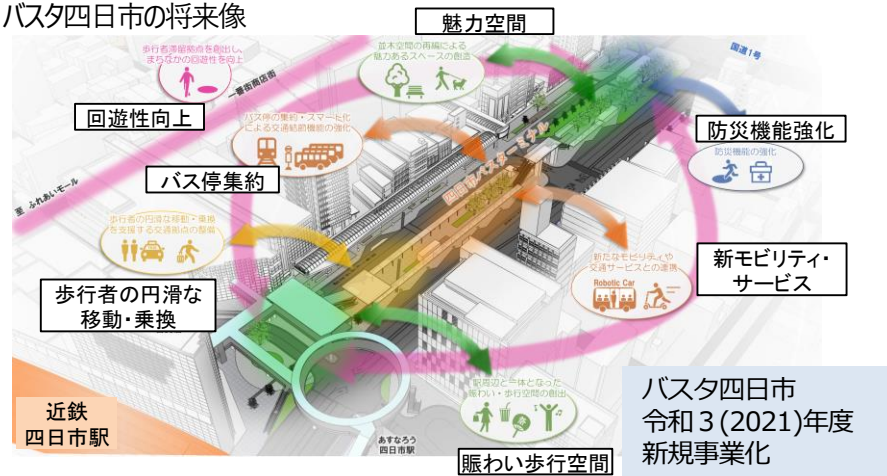
# 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進 交通拠点となる主要駅を中心とする空間整備の推進及び支援

提言  
内容

豊かで活力のある地域づくりの推進に向け、交通拠点となる**主要駅を中心とする空間整備の推進及び支援**を行うこと。

## バスタ四日市の早期整備

バスタ四日市の将来像



歩行者の円滑な移動・乗換を支援する交通拠点の整備



バス停の集約・スマート化による交通結節機能の強化



並木空間の再編による魅力あるスペースの創出



駅周辺と一体となった賑わい・歩行空間の創出



新たなモビリティや交通サービスとの連携



防災機能の強化



2027年リニア東京・名古屋間の開業を見据えてバスタ四日市の早期整備を！

## 津駅周辺道路空間再編への支援

### 津駅周辺道路空間の整備方針

～現在の駅周辺空間が形成されて約半世紀、新たなステージへ！～



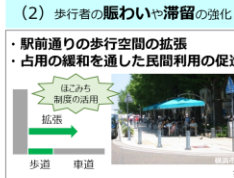
地方都市が主役のポストコロナ時代において

**みえ県都の顔となり、地域の活力を引き出し、災害にも強い空間へと再生**

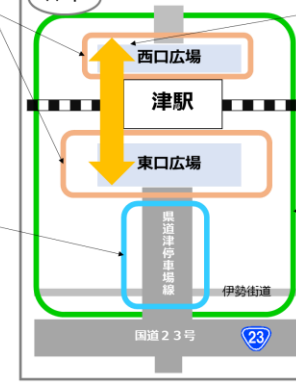
(1) 公共交通の利便性の強化  
災害時の対応の強化

- 交通結節機能の強化 (バス停、タクシー・自家用車乗降場の再構築)
- 歩行者デッキなどの整備 (東口)

<物流にも配慮>



ハード



(3) 東西連携の強化

- 東西自由通路の整備 (東西を快適に移動し、交流を高める)



(4) 駅周辺の回遊性の強化

- ICTを活用した案内看板の設置
- 植栽や美化活動の協働の取組
- 街灯の充実



令和3年度～ 交通拠点の機能強化・再編の必要性の直轄調査を実施  
令和4年度 道路空間の利活用に向けた有識者検討会を7月、2月に実施

令和3年度 車線減少に伴う交通への影響の社会実験を実施  
令和4年度 賑わいや滞留機能の強化に向けた社会実験を10月に実施

賑わいの社会実験  
実施状況

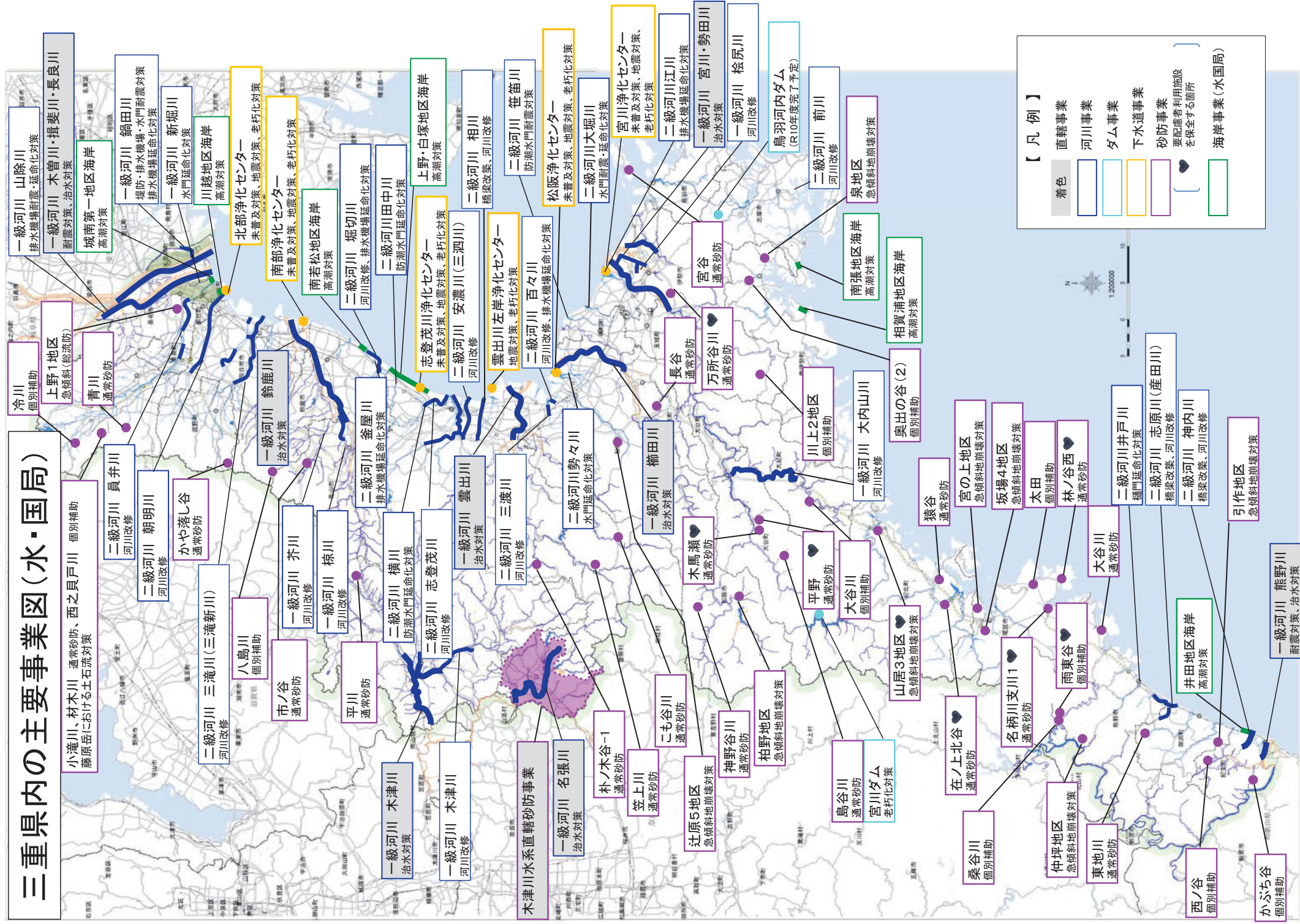
10.19～10.30

賑わいの  
社会実験実施

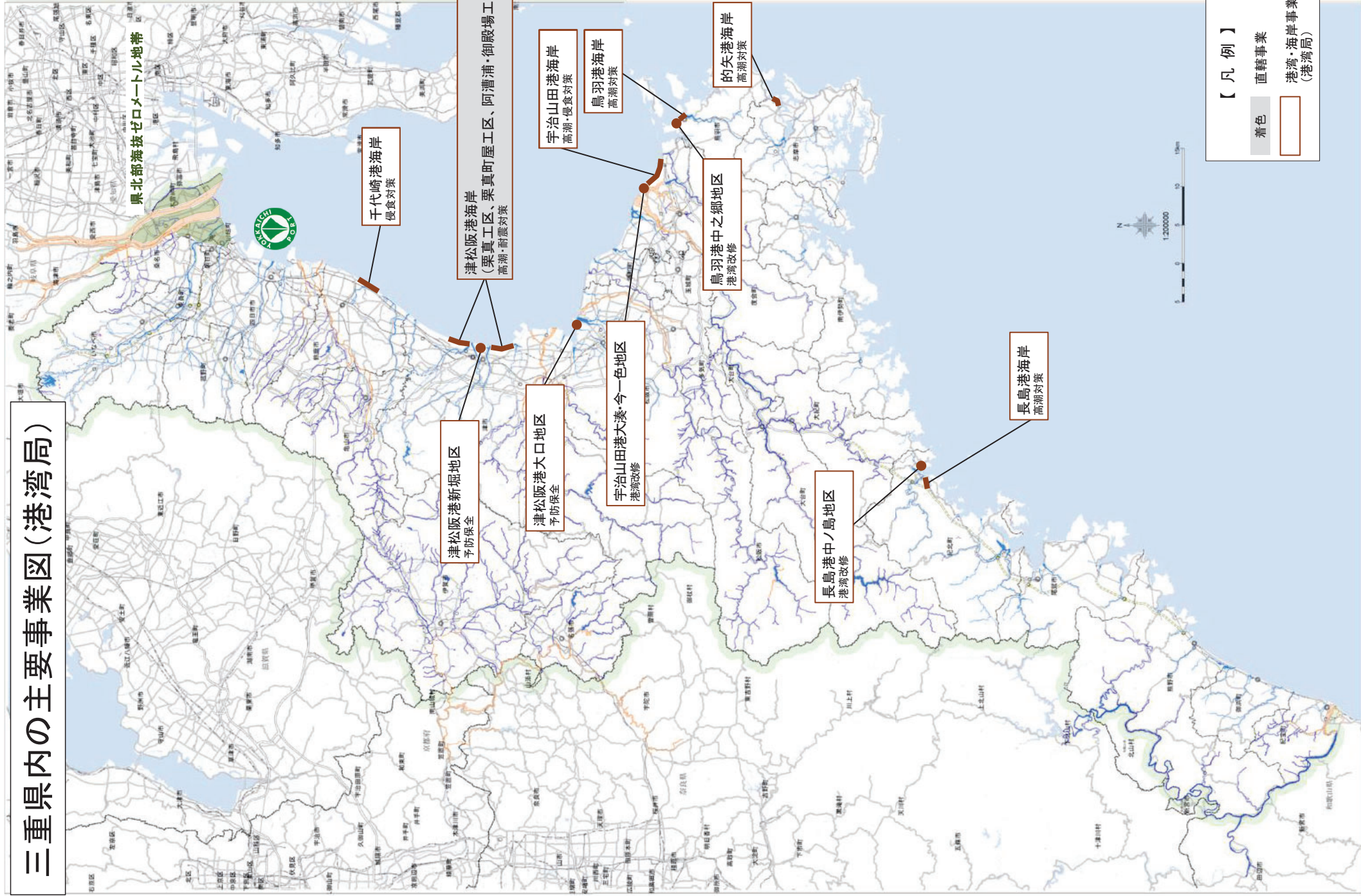


令和4年3月 国・県・市で「津駅周辺道路空間の整備方針」を策定  
津駅周辺道路空間再編への技術的・財政的支援を！

# 三重県内の主要事業図(水・国局)



# 三重県内の主要事業図(港湾局)



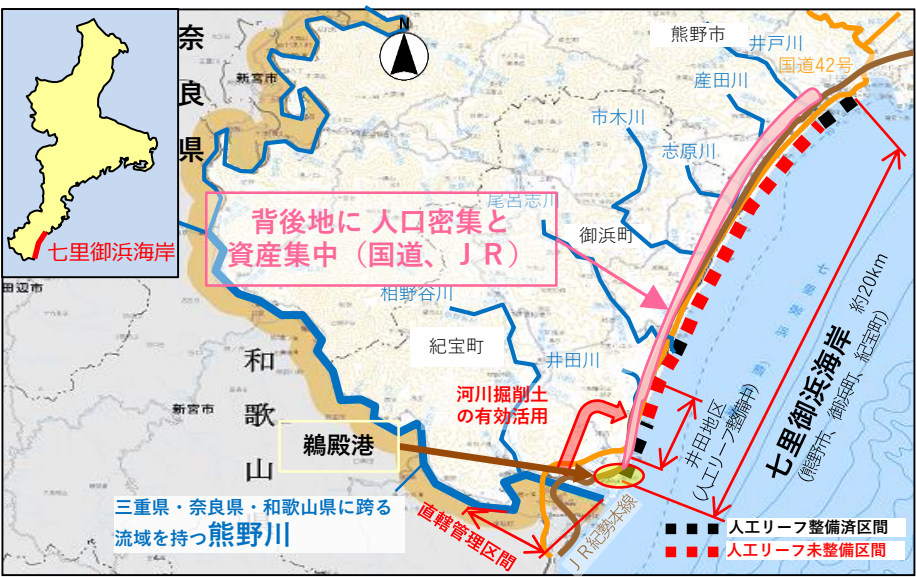
**【凡例】**

- 着色 直轄事業
- 白線 港湾・海岸事業 (港湾局)

# 3 災害に強い県土づくりのための河川・海岸整備の推進

## 七里御浜海岸における侵食対策

- 提言内容
- 1 **七里御浜海岸**の長期にわたる安全・安心を早期に確保するため、整備を**直轄事業化**すること。
  - 2 鵜殿港周辺も含めた効果的な海岸侵食対策の方向性を定めるため、**技術的な支援**を行うこと。



●国の技術的支援  
七里御浜海岸侵食検討に関する勉強会  
中部地方整備局、近畿地方整備局参画  
R4/6/24、9/6、12/22、R5/3/14開催

- R4 港湾施設の配置変更、抜本的な沖合移設等の対策、サンドバイパス、サンドリサイクル等の検討
- R5 土砂の供給・移動の機構を踏まえた総合的な土砂管理計画や対策の経済性、効果、影響を踏まえ、学識者もまじえた検討

侵食対策の方向性

### 七里御浜海岸の課題

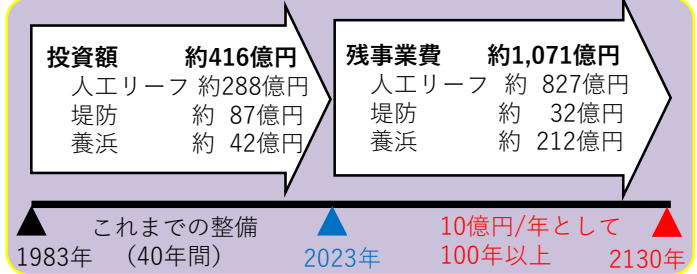
- 砂浜の減少により、越波が増大し、背後地の安全性が低下
- 被災リスクが高い(平成以降に7度被災)

被災年	被災原因	海岸名	被災内容
平成6年	台風第26号	井田地区海岸	堤防 600m
平成9年	台風第7号 台風第9号	井田地区海岸	堤防 720m
平成16年	台風第16号	井田地区海岸	堤防 300m
平成23年	台風第12号	有馬地区海岸	堤防 52m
		阿田和地区海岸	堤防 28m
平成25年	台風第18号	井田地区海岸	人工リーフ 1基
平成29年	台風第21号	井田地区海岸	堤防 40m



井田地区海岸平成9(1997)年被災状況

### ●膨大な事業費が必要



### ●高度な技術力が必要

- 港湾施設の配置等検討
- 国立公園、世界文化遺産等の景観への配慮
- 太平洋の高波が来襲する施工条件
- 熊野川流域の総合的な土砂管理と、砂利浜の安定解析

### ●対策が複数の県に跨る

- 熊野川流域(三重県・奈良県・和歌山県)から発生する土砂の管理が必要
- 熊野川の複数の管理者、関係機関との調整が必要

直轄事業の要件を満たしている(海岸法第六条)

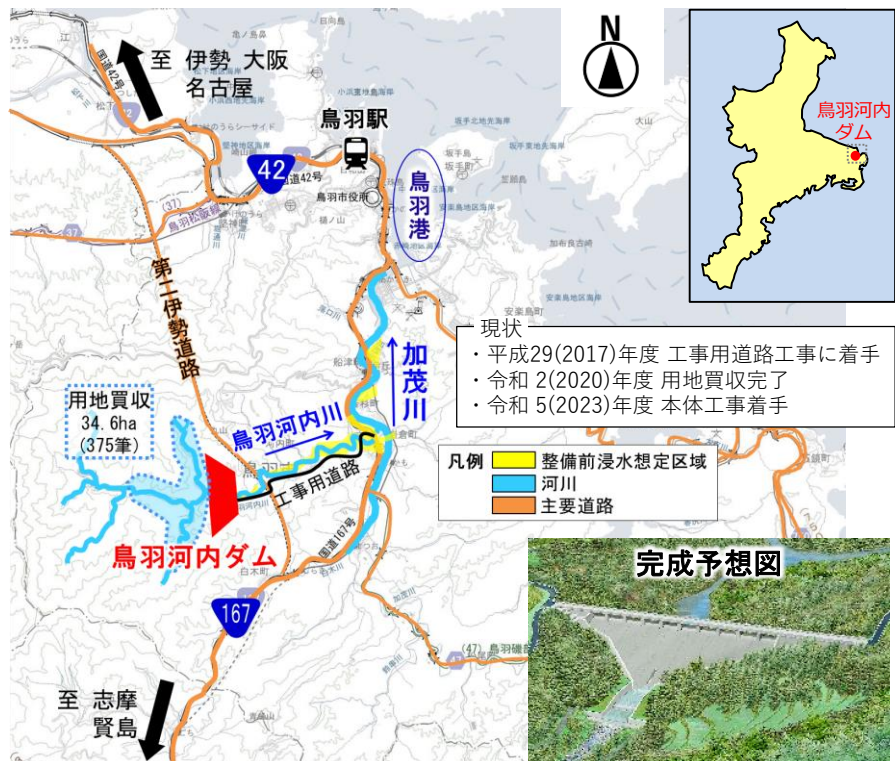
海岸の長期にわたる安全・安心を早期に確保するため、**直轄事業化が必要**

### 3 災害に強い県土づくりのための河川・海岸整備の推進 とばこうち 鳥羽河内ダム建設の推進への支援

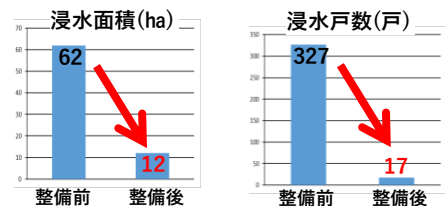
提言内容 **鳥羽河内ダム（県管理）（令和5年度本体工事着手）**の令和10（2028）年度完成に向けて、**必要な予算を確保**すること。

#### 鳥羽河内ダム建設事業

令和10(2028)年度の完成に向けて事業推進中（全体事業費195億円）



#### <目標> 治水安全度の向上



鳥羽河内ダムの完成により  
治水安全度が大きく向上！  
地域の浸水被害を軽減！！

#### <背景> 頻発化・激甚化する豪雨災害



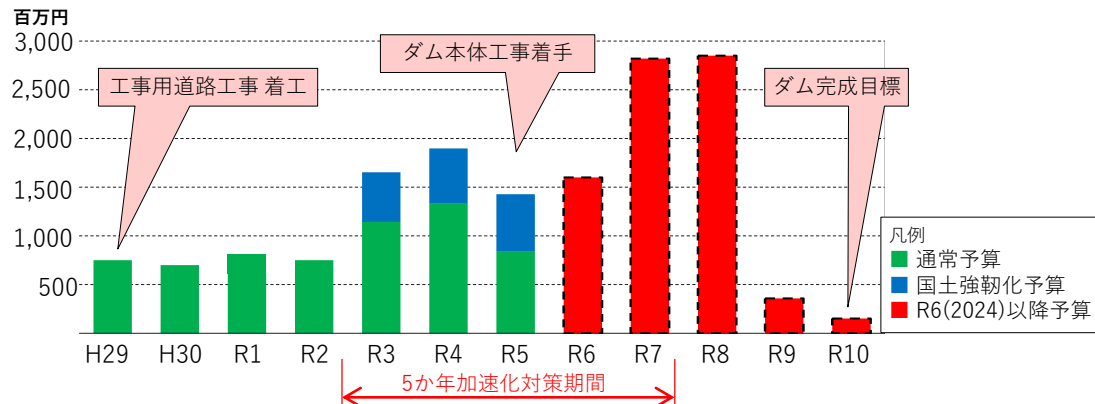
- 平成27(2015)年9月9日の台風第18号では床下浸水8戸、床上浸水1戸の被害。
- 令和4(2022)年8月25日鳥羽市で124mm/hの記録的大雨発生。鳥羽河内川流域でも数年に1回、浸水被害が発生。

#### <取組状況> 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策を推進

- 5か年加速化対策にダム建設事業が位置付けられ、国土強靱化予算が補正予算により措置されたことから、令和5(2023)年度の本体工事着手に向け着実に事業進捗が図られている。

#### <課題> ポスト「5か年加速化対策」のための予算の確保

- 令和6(2024)年度以降、ダム本体工事に約70億円が必要。  
➤ 5か年加速化対策期間後にダム本体工事のピークを迎えるため、引き続き国土強靱化対策による予算確保が必要。





### 3 災害に強い県土づくりのための河川・海岸整備の推進 雲出川の直轄河川改修事業の推進

提言  
内容

特定都市河川の指定による流域治水整備事業を活用して、雲出川本川及び支川の河川改修を加速化すること。

【位置図】



【地域特性】

- ・ 農業基盤集積地
- ・ 下流部の浸水エリアは鉄道や緊急輸送道路が存在する交通の要衝

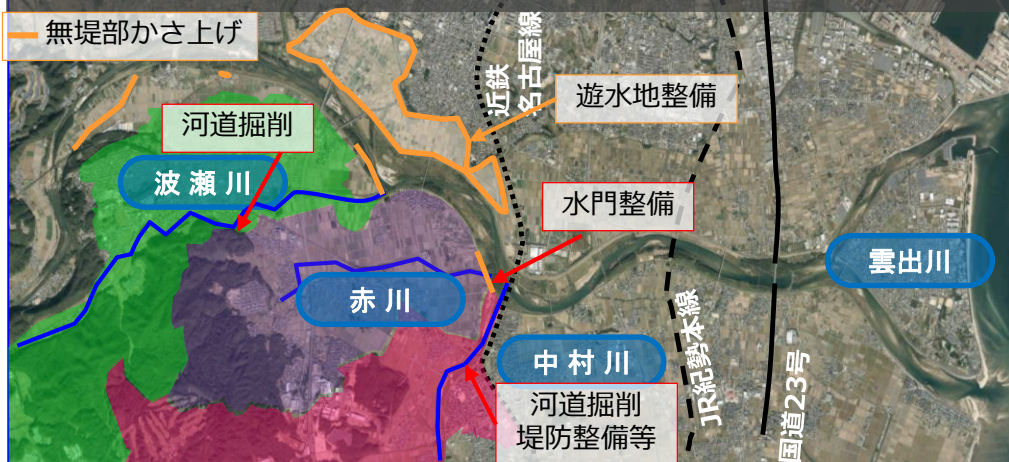
洪水時の浸水状況(平成26年8月洪水)



【現状】

- ・ 雲出川の中流部は無堤部が多く存在し、近年でも毎年のように浸水被害が発生
- ・ 特に平成26年は家屋浸水が発生
- ・ 令和5(2023)年3月、中村川とその支川、赤川、波瀬川を**特定都市河川・特定都市河川流域に指定**

雲出川支川の中村川とその支川、赤川、波瀬川とその流域を特定都市河川・特定都市河川流域に指定



【課題等】

- ・ 流域水害対策計画を策定した後の**予算確保(流域治水整備事業費)が必要**
- ・ **流域治水整備事業を活用することで、波瀬川、赤川、中村川の整備を加速化することが必要**
- ・ 中流部の家屋浸水被害を解消するためには、本川無堤部のかさ上げや遊水地等の整備が必要
- ・ 水害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくりの推進に向けて地域住民への啓発が必要

# 3 災害に強い県土づくりのための河川・海岸整備の推進 木曾三川・鈴鹿川・榊田川・宮川・勢田川の直轄河川改修事業の推進

提  
言  
内  
容

木曾三川および鈴鹿川・榊田川・宮川・勢田川の直轄河川改修事業について、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を重点的・集中的に講じ、事前防災対策を加速化すること。

## 木曾三川

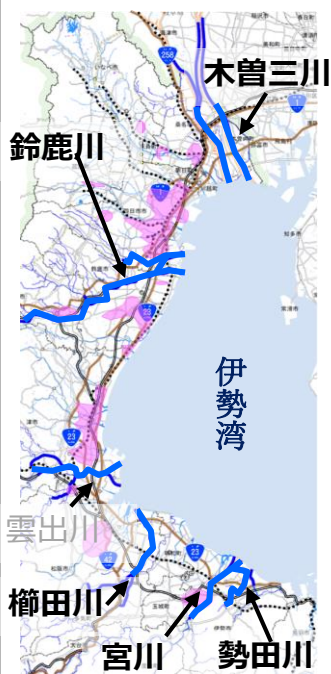
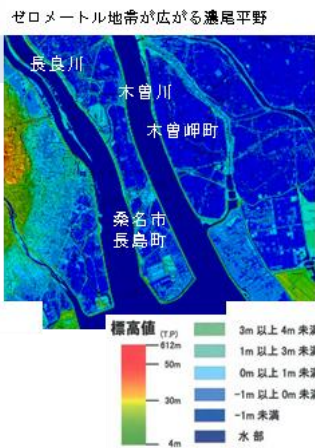
(木曾川、長良川、揖斐川)

### 【現状】

- 国内最大の**海拔ゼロメートル地帯**
- 観光施設や**生産拠点**が多数立地
- 国土強靱化計画による耐震対策を実施中

### 【課題等】

- 南海トラフで今後40年以内にM8～9級地震が発生する確率を「90%程度」に引き上げ
- 堤防が沈下すれば、津波等による浸水は広範囲かつ長時間に及び**日本経済・社会への影響は甚大!**
- 切迫する南海トラフ地震に備え、**堤防耐震対策のさらなる推進が必要!**



## 勢田川

### 【現状】

- 平成29(2017)年台風第21号による被害は、甚大
- |          |
|----------|
| 死者1名     |
| 床上浸水409棟 |
| 床下浸水670棟 |



- 勢田川流域等浸水対策実行計画策定(H30.6.19)
- 榊尻川排水機場ポンプ増強工事に着手 (R4.6)

### 【課題等】

- 榊尻川流域の浸水被害が無くなるよう「**榊尻川排水機場ポンプ増強工事**」の**早期完成を!**



## 鈴鹿川・榊田川・宮川

### 【現状】

- 鈴鹿川水系は、国内有数の石油JLバート等を有する産業集積地
- 榊田川水系は農業基盤集積地
- 榊田川水系・宮川水系は齋宮跡・伊勢神宮等歴史遺産が数多く存在
- **人口** 約76万人(県内の44%)、**製造品出荷額** 約5.6兆円(県内の53%)

### 【課題等】

- 被害を軽減するため、**治水対策(河道掘削・堤防整備等)のさらなる推進が必要!**



### 3 災害に強い県土づくりのための河川・海岸整備の推進 熊野川の治水・濁水対策の推進

提言  
内容

- 1 **熊野川**の直轄河川改修事業について、河川整備計画に基づき**河道掘削等の推進**を図ること。
- 2 熊野川の総合的な治水対策協議会において**持続可能かつ総合的な土砂管理を進めるとともに、濁水およびその長期化を抑制する取組を推進**すること。

#### 熊野川の治水対策

##### 現状

##### 気候変動の影響により水災害が頻発化・激甚化

平成23年紀伊半島大水害で熊野川で計画を大きく上回る24,000m<sup>3</sup>/sの洪水により、甚大な浸水被害が発生！  
 令和元(2019)年の台風第10号では相野谷川（高岡地区）おのだにで計画高水位超過！  
 令和3（2021）年度に気候変動の影響をふまえた河川整備基本方針・河川整備計画を策定

##### 取組内容

- 整備計画に基づいた河道掘削
- 整備計画に基づき、熊野川の総合的な治水対策協議会において持続可能で総合的な土砂管理を実現するための専門部会を設置

##### 課題

- 計画高水流量に対して流下能力が不足しており、河道掘削による流下断面の増大が必要
- **河口部河道掘削の一層の推進が必要！**
- 総合土砂管理の取組として**河口の河道掘削、七里御浜養浜事業との連携で、「土砂の有効活用」が必要**

平成23年紀伊半島大水害



令和元(2019)年台風第10号



基本高水流量の変更  
 19,000m<sup>3</sup>/s  
 →24,000m<sup>3</sup>/s

河道掘削範囲



#### 熊野川の濁水対策

##### 原因

##### 平成23年紀伊半島大水害

上流域の紀伊山地で大規模な斜面崩壊  
 崩壊地数 3,077箇所  
 崩壊土砂総量 約1億m<sup>3</sup>

深層崩壊発生直後  
 (五條市清水地区)



河道閉塞発生直後  
 (五條市大塔町赤谷地区)



##### 取組内容

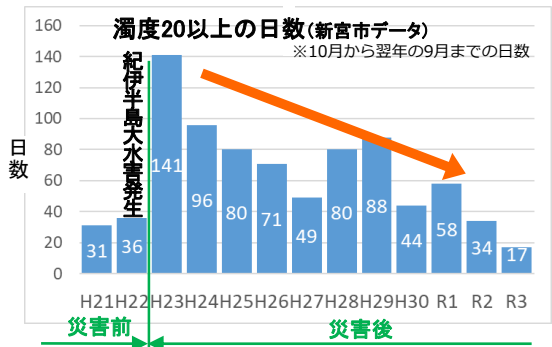
##### 熊野川の総合的な治水対策協議会

国・三重県・奈良県・和歌山県・沿川市町村・ダム管理者が連携して対策を実施中

- ①崩壊地対策と河道への土砂流出防止（国交省、林野庁、三重県、奈良県、和歌山県）
- ②河道内堆積土砂撤去（国交省、三重県、奈良県、和歌山県、電源開発㈱）
- ③ダムの取水設備改造、濁水フェンス設置、運用変更（電源開発㈱）

##### 課題

- 紀伊半島大水害以降、河川への土砂流入が増加し、大雨後の濁水が長期化
- 目安の濁度20以上の日数は災害前まで減少したが、**引き続き注視が必要**
- **モニタリングの継続、濁水およびその長期化を抑制する取組を推進！**



### 3 災害に強い県土づくりのための河川・海岸整備の推進 木津川・名張川直轄河川改修事業の推進

提言内容 **名張川および木津川・服部川・柘植川**の直轄河川改修事業について、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を重点的・集中的に講じ、事前防災**対策を加速化**すること。

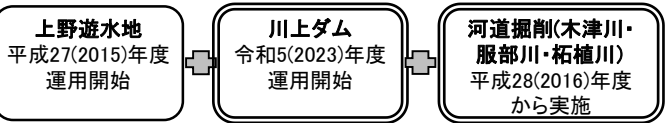
#### 川上ダム・木津川直轄河川事業

##### 【現状】

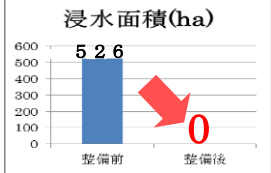
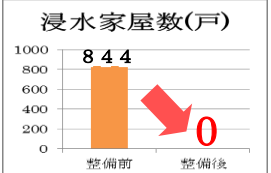
- 低い治水安全度
- 数年に一度は浸水

最近の浸水	事象	浸水面積	浸水戸数
H21. 10	台風第18号	5.3ha	32戸
H24. 9	台風第17号	0.07ha	38戸
H25. 9	台風第18号	28ha	150戸

- 3点セットで「治水安全度の向上」を実現！



- 最大規模の洪水(S28台風第13号)が発生しても被害がゼロに！



##### 【川上ダムの取組】

- 令和5(2023)年3月に事業完了(管理を開始)

##### 【川上ダムの課題】

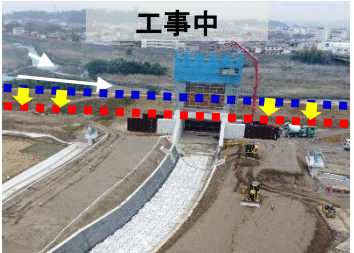
- 試験湛水中も本運用と同等の効果的な運用を！



##### 【木津川等河川の取組】

- 河道掘削・引堤の推進

木津川河道掘削 長田地区      服部川引堤 三田地区



##### 【木津川等河川の課題】

- 令和3年8月に策定された淀川水系河川整備計画(変更)に基づき、気候変動の影響等をふまえたさらなる河川整備が必要！
- さらなる治水安全度向上のため、**木津川・服部川・柘植川の河道掘削および服部川(三田地区)における引堤の推進を！**

#### 名張川直轄河川事業改修

##### 【現状】

- 名張かわまちづくり一体型浸水対策事業(I期)の推進



##### 【効果】

- 令和元年東日本台風では、河道掘削・樹木伐採の実施により、**約0.4mの水位低減効果**を発揮し、溢水を回避！



##### 【課題】

- 上流ダム群(青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダム)が本来有している洪水調節機能を発揮させるには、名張川の事業推進が必要！(淀川水系河川堤防整備状況約61%)
- さらなる治水安全度向上のため、**川を生かした地域づくりの核となる名張川の引堤・河道掘削の推進を！**

## 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

# 三重県の港湾脱炭素化推進計画作成、港湾の利活用による地域活性化の支援

- |    |  |
|----|--|
| 提言 | 1 港湾の <b>脱炭素化推進計画作成に向けた助言</b> など技術的な支援を行うこと。       |
| 内容 | 2 物流、観光の活性化に資する <b>港湾の利活用に関する助言</b> など技術的な支援を行うこと。 |

### 【現状・課題】

世界的な**脱炭素化の動き**、**地域産業の低迷**、アフターコロナを見据えた**観光活性化**など三重県内の各地域が抱える問題に対して、**港湾の利活用を通じた現状打開策**が求められている

### 【取組】

## 「三重県 港湾みらい共創本部」の設置

港湾に係る多様な関係者と協働し、新たな課題への対応を目的に「三重県港湾みらい共創本部」を令和4年4月に設置して計画検討作業に取り組んでいる

### (1) 港湾の脱炭素化

2050年までの港湾の脱炭素化に向けた計画作成が必要

令和4年度

4月 本部設置

令和5年度

重要港湾（津松阪港・尾鷲港）  
脱炭素化推進協議会設立(予定)  
～計画作成を進める～

令和6年度

脱炭素化推進計画作成



重要港湾でのカーボンニュートラル形成に向け脱炭素化推進計画を作成

### (2) 港湾による地域産業活性化

産業集積地との連携など取扱貨物量の拡大に向けた環境整備が必要



- ・林業や水産業、工業など地域産業の活性化に資する港湾の取組の検討
- ・洋上風力発電基地港湾の検討

### (3) 港湾を利用した観光活性化

港を起点としたインバウンド需要の取り込みなどの環境整備が必要



クルーズ船の利便性向上、離島観光などの振興に資する港湾の取組の検討

### 【これまでの進捗】

■ヒアリングなどにより把握した**課題**を**脱炭素、利用促進などに分類し、考え方を整理**



ヒアリング (尾鷲市)



関係機関への説明 (尾鷲市)

### 【令和6年度末目標】

- ・港湾脱炭素化推進計画作成
- ・活性化の取組プロジェクト作成

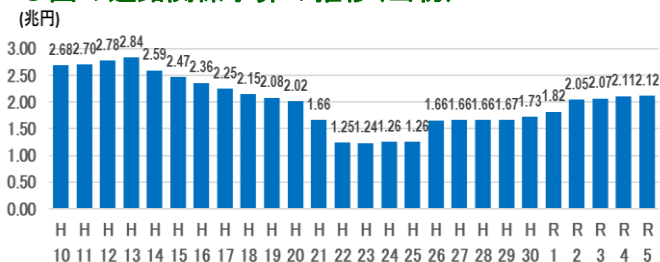
※可能なものから着手

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 新たな財源の創設、個別補助制度の拡充

- 提言内容
- 1 地方が真に必要とする道路の整備・管理を長期安定的に推進するため、**新たな財源の創設**を行うこと。
  - 2 大規模構造物（橋梁・トンネル等）の新設・改築及び、小規模附属物（道路情報板等）の修繕について **個別補助制度を拡充**すること。

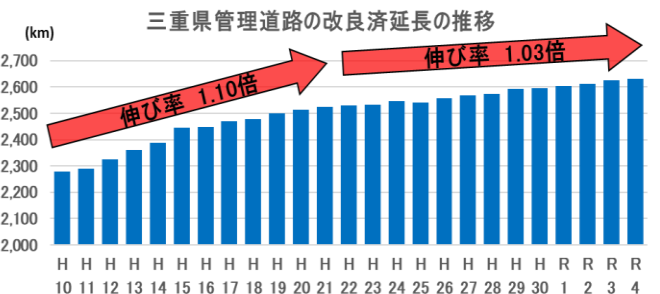
## 新たな財源の創設

### ○国の道路関係予算の推移(当初)



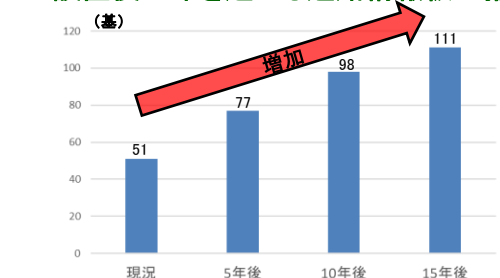
国の道路関係予算は、  
平成13(2001)年度をピークに減少！  
平成22(2010)年度に大きく減少！  
平成26(2014)年度以降は微増しているが、以前の予算額までは回復していない！

### ○三重県管理道路の改良状況



改良済延長の伸び率は平成20(2008)年度までは1.10倍であったが、平成21(2009)年度以降は1.03倍と鈍化している！

### ○設置後15年を超える道路情報板の推移



設置後15年を超える道路情報板が増加。このため、道路情報板の維持管理・更新を計画的に進めていく必要がある。

新たな財源の創設による道路の整備・管理の推進を！

## 個別補助制度の拡充

### ○大規模構造物の新設・改築



県道 鈴鹿環状線 (磯山バイパス)  
伊勢鉄道アンダー(190m)  
社会資本整備総合交付金  
事業費 約16億円  
工事期間 約5年間  
令和7年度開通予定



国道368号(4車線化)  
大内橋(188m)  
社会資本整備総合交付金  
事業費 約8億円  
工事期間 約3年間  
令和7年度開通予定

大規模構造物の新築・改築に計画的で、一定期間、重点的に予算配分される個別補助事業が必要

### ○道路情報板の老朽化対策



県管理 道路情報板 111基

健全箇所 70基	要対策箇所 41基
----------	-----------

要対策箇所が約4割を占める状況であり、早急に対策を実施する必要がある

小規模附属物を計画的に維持管理・更新するため、個別補助制度拡充が必要

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 道路整備に係る個別補助事業推進への支援

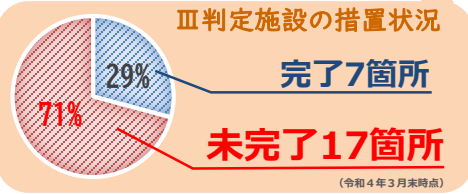
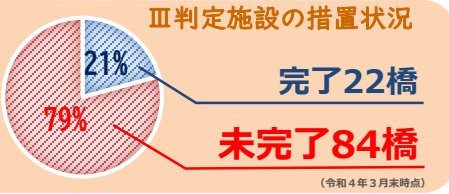
提言内容 地域の課題解決に向け「**道路メンテナンス事業補助**」「**踏切道改良計画事業補助**」「**土砂災害対策道路事業補助**」「**交通安全対策補助（地区内連携）**」の推進に必要な**予算を確保**すること。

## 道路メンテナンス事業補助

### 2 巡目点検結果〔橋梁〕

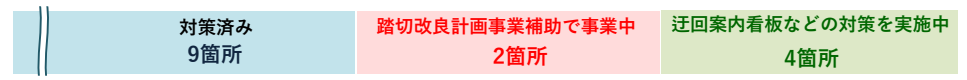


### 2 巡目点検結果〔トンネル〕



## 踏切道改良計画事業補助

### 三重県法指定踏切実施状況



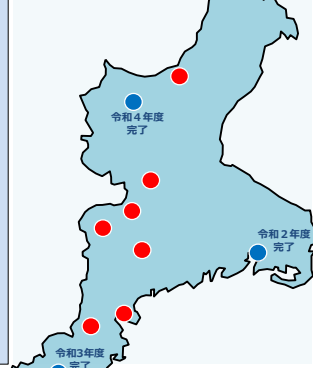
道路管理者対応踏切 三重県内15箇所



## 土砂災害対策道路事業補助



全体計画 12箇所  
完了済 4箇所  
事業実施中 8箇所



## 交通安全対策補助(地区内連携)

県内2地区で事業実施中

**鈴鹿市**  
路肩整備・・・鈴鹿市施工  
歩車道分離柵設置・・・三重県施工

**明和町**  
路肩整備・・・明和町施工  
路肩整備・・・三重県施工  
交差点改良・・・三重県施工  
横断歩道塗り直し・・・県警施工



# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 県管理道路の整備推進への支援

提言  
内容

- 1 地域高規格道路の**国道167号磯部バイパス**の整備推進に必要な**予算を確保**すること。
- 2 東海環状自動車道へのアクセスを強化する**国道421号大安ICアクセス道路**の整備推進に必要な**予算を確保**すること。
- 3 地方創生や地域の防災・減災、安全に資する道路整備に必要な**社会資本整備総合交付金事業**および**防災・安全交付金事業**に必要な**予算を確保**すること。

### ■国道167号磯部バイパス

**令和6年度開通予定 公表済**

明かり部工事 推進中

R5. 3. 13トンネル貫通

### ■国道421号大安ICアクセス道路

**令和6年度開通予定 公表済**

4車線化区間 工事推進中 バイパス区間 工事推進中

事業区間全体で工事推進中

#### 社会資本整備総合交付金

自由度が高く、創意工夫を活かせる  
総合的な交付金

年度	予算額(億円)
平成30年度	8,886
令和元年度	8,713
令和2年度	7,627
令和3年度	6,311
令和4年度	5,817

県内54箇所<sup>※</sup>の道路事業で活用

#### 防災・安全交付金

老朽化対策、事前防災減災対策、生活空間の  
安全確保の取組を集中的に支援

年度	予算額(億円)
平成30年度	1兆1,117
令和元年度	1兆3,173
令和2年度	1兆388
令和3年度	8,540
令和4年度	8,156

県内83箇所<sup>※</sup>の道路事業で活用

### ～社会資本整備総合交付金および防災・安全交付金の現状～

道路ネットワークの形成による地方創生や地域の防災・減災、安全に資する道路整備が必要であるが、予算が十分でなく計画的な道路整備を図ることが困難な状況

年度	要望額(億円)	配分額(億円)	措置率(%)
H25	24,847	19,313	78%
H26	28,744	19,799	69%
H27	33,493	19,846	59%
H28	36,425	19,862	55%
H29	34,746	19,866	57%
H30	33,152	19,895	60%
R1	32,138	21,709	68%
R2	25,919	17,853	68%
R3	20,812	14,670	70%
R4	19,424	13,813	71%

⇒ 社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金の所要額確保が必要

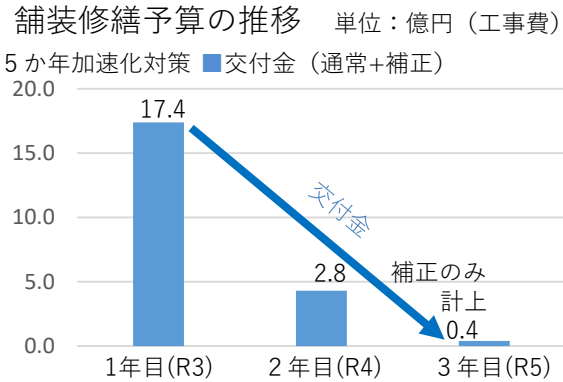


# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 道路施設の老朽化対策推進への支援

提言  
内容

**劣化が進む舗装の修繕や道路インフラの老朽化対策**を推進するために必要な**予算を確保**すること。

## 防災上重要な道路における舗装修繕の推進



主要地方道神戸長沢線(鈴鹿市)



「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」における交付金予算が1年目(令和3年度)の配分に比べ2年目(令和4年度)、3年目(令和5年度)の配分が大幅に減少

**県単独事業での対応が余儀なくされ、財政負担が急増**

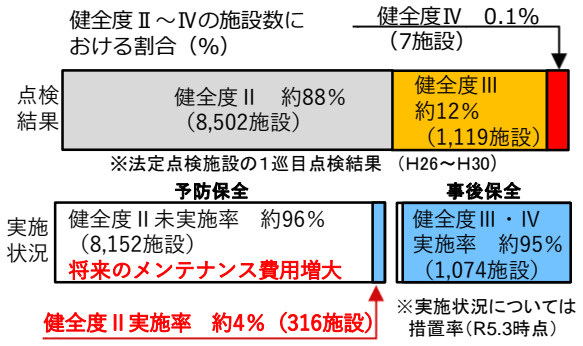
安全・安心な通行の確保が図れるよう、  
**舗装修繕に必要な予算の確保を!**

## 予防保全型道路インフラメンテナンスの推進

<県及び県内市町の主な道路施設> <県および県内市町の健全度Ⅱ～Ⅳの道路施設>  
( ) 内は県管理数

・橋梁	17,881橋 (4,158橋)
・トンネル	140本 (122本)
・道路附属物等	230施設 (182施設)

※施設数は1巡目点検時の数  
道路附属物等は、横断歩道橋、  
シェッド、大型カルバート、門型標識



**【予防保全】**  
健全度Ⅱ

橋梁支承の腐食は軽度であり、除錆・塗装等の対応



小

**【事後保全】**  
健全度Ⅲ

橋梁支承の腐食が著しく取り換え必要



大

より早い段階で修繕することにより、ライフサイクルコストが縮減

**事後保全から予防保全への転換が重要**

予防保全への本格的転換を早期に図れるよう、  
**インフラ長寿命化対策に計画的・集中的支援を!**

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 適切な維持管理（区画線、除雪、除草など）への支援

- 提言内容
- 1 健全な**路面標示の定常化**に向け、計画的に進めるために**連携**すること。
  - 2 **大雪時**の人命最優先の道路規制や乗員保護のための**広域的な情報共有体制を強化**すること。
  - 3 良好な景観形成や地域の絆に資する**花とみどりの活用推進**に向けて、**取組を強化**すること。

## 効果的な路面標示の維持管理

### 健全な路面標示の定常化に向けた取組

- AI技術活用による劣化状況の把握
- 高耐久性塗料による耐久性向上の取組
- 国・県警察・県による同時施工の取組



直轄国道事務所・県警・県で構成する  
**路面標示連絡調整会議**で取組の  
情報共有・連携強化

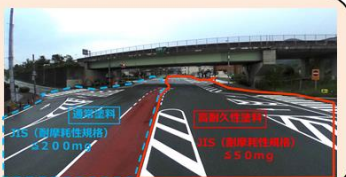
【AI路面標示劣化  
検知システム開発】  
三重大・県警察  
県の共同開発



R5年3月20日  
路面標示連絡調整会議

【同時施工の取組】  
直轄国道と県道  
の交差点で同時  
施工を実施

【耐久性向上の取組】  
直轄国道と県道で高耐久  
性塗料のモニタリング調  
査を実施



安全な通行確保のため、交差点部の同  
時施工など、さらなる連携を！

## 人命最優先の大雪時の道路管理

雪による大規模な車両滞留が全国的に発生

人命を最優先に大規模な車両滞留を回避する  
ため、関係機関の**連携が必要**



### 広域的な体制を強化

迅速な情報共有体制

適切かつ一体的な通行規制

乗員保護体制の確保

道路利用者への情報発信

新技術の活用の推進

広域的な情報共有体制の強化を！

## 道路空間の花とみどりの活用推進

良好な景観形成に向けた「**花とみどりの  
三重づくり条例**」が施行（R5年4月）

- 県有施設等における花とみどりの活用
- 街路樹等の機能の発揮
- 花とみどりの文化の振興
- 花とみどりの名所づくりの推進
- 人材育成等
- 県民及び事業者の理解の増進等

### 県有施設等における花とみどりの活用

「みえ花と絆のプロジェクト」による花植え活動の促進



### 街路樹等の機能の発揮

管理目標樹形に基づく、景観  
に配慮した剪定の実施



安全や景観に配慮した  
きめ細かな道路除草の推進



良好な景観形成や地域の絆の強化を目指し  
直轄国道においても取組の強化を！

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 通学路の交通安全対策推進への支援

提言  
内容

**通学路の交通安全対策**を推進するために必要な**予算を確保**すること。

## 千葉県八街市の事故をふまえた合同点検に基づく交通安全対策

千葉県八街市の事故を踏まえた通学路合同点検に基づく対策箇所について  
「交通安全対策補助事業（通学路緊急対策）」や「防災・安全交付金」を活用し  
対策を推進

	R3年度	R4年度	R5年度
<b>要対策箇所 (県管理道路) 228箇所</b>	完成 51箇所 (22%)	完成 +161箇所 (93%)	完成(予定) +16箇所 (100%) 地元調整に時間 を要する箇所 ↳速効対策

令和3年6月  
交通事故発生  
合同点検実施

### 対策例



➤ 千葉県八街市の事故を受け、通学路合同点検による対策が講じられるまでの間に、すぐできる対策を**県単独事業費**で速やかに実施(速効対策)



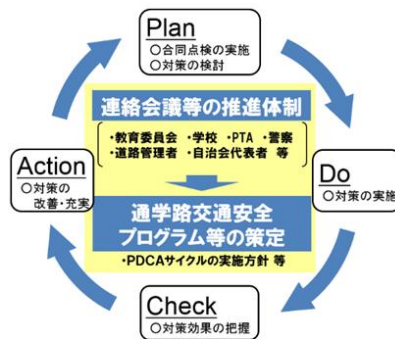
千葉県八街市の事故をふまえた合同点検や通学路交通安全プログラムに基づく対策箇所に、速効対策等も講じながらスピード感をもって進めています。



## 通学路交通安全プログラムに基づく交通安全対策

通学路交通安全プログラムに基づく対策箇所について  
「交通安全対策補助事業（地区内連携）」や「防災・安全交付金」を活用し  
PDCAサイクルで継続的に対策を推進

	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度～
<b>要対策箇所 (県管理道路) 309箇所※</b> ※R3.3時点の箇所数	完成 233箇所 (75%)	完成 +53箇所 (93%)	完成 +8箇所 (95%)	残り 15箇所



➤ 関係者と連携し、PDCAサイクルで継続的に実施  
➤ 新たに抽出される対策箇所についても着実に対策を実施

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 交通マネジメント・メンテナンスのDXへの支援

提言  
内容

AIカメラをはじめとする地方自治体が進める**道路のDX**の取組を加速できるよう、国からの**技術的・財政的な支援を拡充**すること。

## 交通マネジメントのDXへの支援

### R5(2023)年3月 道路DX中期計画ver.2 (カメラ活用方針) の策定

的確・迅速な  
情報発信

安全・円滑な交通の支援



道路状況をドライバーへ共有

道路管理の  
強化・効率化

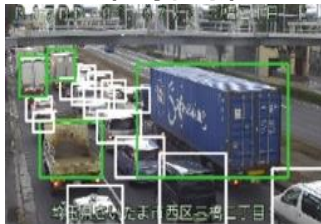
道路冠水対策



冠水状況を確認し迅速な対応

道路空間再編、  
渋滞・事故対策への活用

渋滞・事故対策



交通状況のモニタリング・分析

### R4(2022)年3月 道路DX中期計画ver.1 (カメラ設置方針) の策定

R4(2022)年度～

平常時・災害時の重なる箇所に優先的に拡充  
100基設置(交付金活用)※既設・民間カメラ含む

R3(2021)年度～

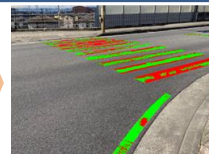
AIカメラによる常時観測システムを運用開始  
交付金により県内主要道路10箇所設置。都道府県で全国初！

## メンテナンスのDXへの支援

### ① AI路面標示劣化検知システム



車載カメラ  
GPS撮影



AIによる  
劣化判定



路面状況の  
データベース化  
(帳票・地図表示)

R4(2022)年度 システムの実証試験開始  
R5(2023)年度 システムの本運用開始

連携

### ② 路面振動検知システム

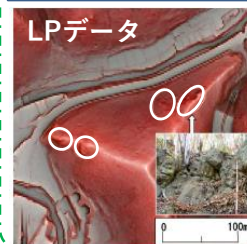
スマートフォンアプリを  
利用した路面振動検知  
システムの導入検討



路面状況の自動判定、  
データベース化

凡例：振動レベル  
強い ← → 弱い

### ③ LPデータを活用した潜在的危険箇所の把握



LPデータ  
落石発生源、  
崩壊、地すべり  
等の災害要因を比較的容易に抽出可能

対策の実施

災害の未然防止

メンテナンスのデジタル化により、  
道路管理の強化・効率化

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 ナショナルサイクルルート・GXへの支援

提言  
内容

- 1 **ナショナルサイクルルートの環境整備**を推進するため、必要な**予算の支援と拡充**を図るとともに、**直轄国道**での取組を推進すること。
- 2 **トンネル照明のLED化**を推進するため、必要な**予算の確保**を図ること。

## ナショナルサイクルルートの環境整備の推進

太平洋岸自転車道 (Pacific Cycling Road)  
 ●延長：1,487 km (うち 三重県内延長 300 km)  
 ●起終点  
 千葉県銚子市J R銚子駅 ~ 和歌山県和歌山市加太港  
 ※三重県内起終点  
 鳥羽市鳥羽港 ~ 南牟婁郡紀宝町新熊野大橋

太平洋岸自転車道マップ (国HPより)

路肩拡幅 (交付金対象)

案内看板整備 (交付金対象)

公式SNS (動画) でルートを紹介

**予算の支援を！**

### サイクルステーション



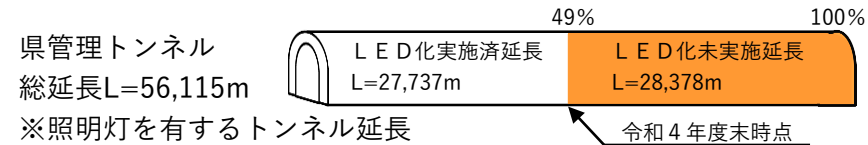
サイクルステーション設置事例 (国HPより)

- 矢羽根 (交付金対象)
  - 舗装修繕 (交付金対象外)
  - 景観整備 (交付金対象外)
- 安全な走行が確保できる
- 樹木を伐採すれば海が眺望できる

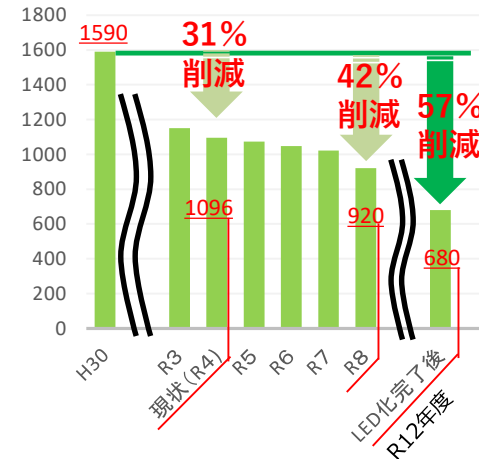


**交付金対象の要件拡大を！！**

## トンネル照明のLED化の推進



トンネル照明のLED化によるCO<sub>2</sub>排出量の削減目標



※：トンネル照明のLED化は平成30 (2018) 年度から実施

・脱炭素社会の実現に向け、トンネル照明のLED化を計画的に進めるため、**予算の確保を！**

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 流域治水の取組の推進への支援

提言	1 流域治水の取組推進のため、 <b>特定都市河川の拡大に向けた技術的な支援</b> を行うこと。
内容	2 <b>河川管理者以外の者が行う取組</b> に対する <b>財政支援</b> を行うこと。
	3 利水ダムの事前放流にあたり、新たに必要となる <b>情報共有システムの構築</b> に対する <b>財政支援</b> を行うこと。

## あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の本格的実践

### 都市河川の指定拡大による流域対策の推進



- |  |   |
|--|---|
| <p><b>【現状】</b><br/>国の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 特定都市河川の指定拡大による流域対策の推進</li> <li>■ 全国の一級水系・二級水系を対象に、特定都市河川の指定拡大をめざす</li> </ul> <p>県の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 指定に向けた準備</li> </ul> | <p><b>【課題等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 特定都市河川の指定には、地域住民の「流域治水」への理解が必要</li> <li>■ 県条例の制定等、<b>事前準備が必要</b></li> <li>■ 指定後、区域の指定や計画の策定など<b>多大な業務が発生</b></li> <li>■ 特定都市河川の指定の拡大を図るには、さらなる啓発や国管理河川指定のノウハウ等について<b>引き続きの技術的支援が必要！</b></li> </ul> |
|--|---|

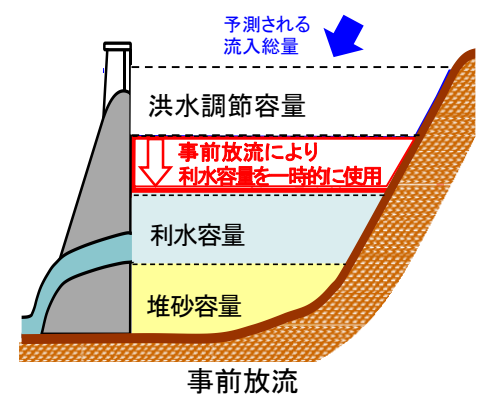
### 河川管理者以外の者による取組について財政支援

- 【現状】**
- 流域治水対策を支援する整備メニューや予算制度を整理
- 【課題等】**
- 強力に取組を進めるためには、**取り組むことで施行者にメリットがある財政支援が必要！**（田んぼダムの場合、堰板と同時施工の畔補強も対象にするなど）
  - 各省庁が連携する枠組みの構築が必要



### 事前放流に伴う情報共有システムの構築

- 【現状】**
- 新たに必要となる情報共有システム構築の費用は河川管理者・ダム管理者双方で応分の負担が必要
- 【課題等】**
- 利水ダムのシステム構築には土地改良区など**利水者の財政負担**が必要
  - **情報共有システム構築に対する財政支援が必要！**



# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 気候変動を踏まえた治水計画の見直しへの支援

- 提言内容
- 1 **河川整備基本方針・河川整備計画**策定に係る業務を社会資本整備総合**交付金制度の対象**とすること。
  - 2 **海岸保全基本計画の変更**について**技術的な支援**を行うこと。

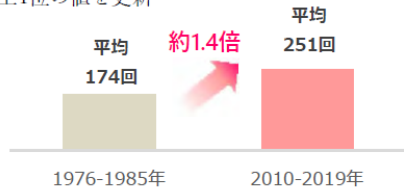
## 河川整備基本方針・河川整備計画の策定・見直し

### 【現状】

#### ■ 気候変動の影響が顕在化

○短時間強雨の発生頻度が直近30~40年間で約1.4倍に拡大。

※ 令和元年東日本台風では、103もの地点で24時間降水量が観測史上1位の値を更新



【短時間強雨（1時間降雨量50mm以上）の年間発生回数】

※ アメダス1,000地点あたり

- 優先的に計画の見直しを行う6河川を選定
- 計画策定・見直しに係る業務は**交付金制度の対象外**

### 【課題等】

- 基本方針・整備計画の策定・見直しに係る業務を**交付金制度の対象に！**
- 気候変動を踏まえた治水計画の策定・見直しの手法について技術的支援が必要

## 海岸保全基本計画の変更

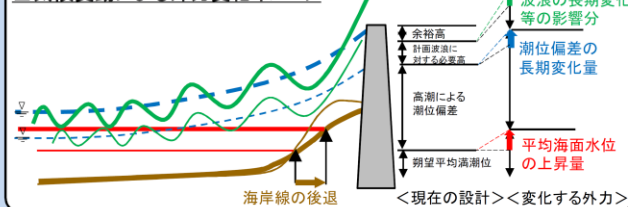
### 【現状】

#### ■ 気候変動の影響が顕在化 海面水位の上昇等

#### I 海岸保全に影響する気候変動の現状と予測

・IPCCのレポートでは「気候システムの温暖化には疑う余地はない」とされ、SROCCIによれば、2100年までの平均海面水位の予測上昇範囲は、RCP2.6(2℃上昇に相当)で0.29-0.59m、RCP8.5(4℃上昇に相当)で0.61-1.10m。

#### ■ 気候変動による外力変化イメージ



#### <気候変動影響の将来予測>

	将来予測
平均海面水位	・上昇する
高潮時の潮位偏差	・極値は上がる
波浪	・波高の平均は下がるが極値は上がる ・波向きが変わる
海岸侵食	・砂浜の6割~8割が消失

気候変動を踏まえた海岸保全のあり方(提言)概要: 国土交通省

- 令和3(2021)年度の新規制度で交付金で支援する制度が設立された。

### 【課題等】

- 将来的な気候変動を踏まえて設計外力を設定した場合、海岸のほか河川管理施設等、特に県境にまたがる直轄河川には大きな影響を及ぼす。
- 3県にまたがる設定となることから、設計外力の算定について**技術的支援が必要**

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

## 緊急性の高い河川・海岸堤防や水門・樋門などの地震・津波対策の推進への支援

提言内容 南海トラフ地震による被災リスクの高い「ゼロメートル地帯」や「津波避難対策特別強化地域」などにおいて、緊急性の高い河川・海岸堤防や水門・樋門などの地震・津波対策を重点的に推進できるよう、安定的に予算を確保すること。

### 南海トラフ地震に備えた地震・津波対策

三重県の沿岸は、「ゼロメートル地帯」や「津波避難対策特別強化地域」であり、被災リスクが非常に高い。

●南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率は70～80%！



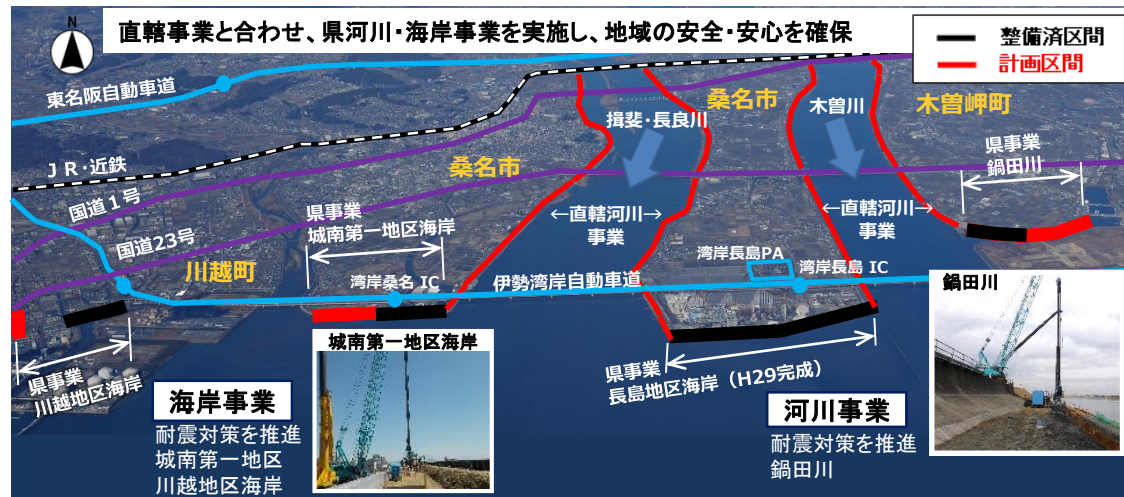
### 地震・津波対策の予算確保が必要

河川改修や高潮・浸食対策に加えて地震・津波対策を実施するには既存の交付金事業では不十分

高潮浸水被害への関心の高まり

- ・伊勢湾沿岸[三重県区間]の高潮浸水想定区域を指定(令和5(2023)年3月)
- ・想定の結果、11市町において約288km<sup>2</sup>が浸水
- ・堤防背後住民らの関心の高まり

### 【河川・海岸事業】ゼロメートル地帯における堤防等の地震対策を実施



### 【海岸事業】

短時間で津波が到達する沿岸での津波対策を実施



県南部では、津波が最短2分で到達することから、避難時間を少しでも確保できるよう、津波対策の推進が必要！

### 【河川事業】

津波の遡上が想定される河口部にて耐震対策を実施

耐震対策が必要な河川管理施設	
河川堤防	L = 51.2km
排水機場	N = 8施設
水門・樋門	N = 16基

防災・安全交付金にて事業実施

防災・安全交付金は減少傾向であるため、進捗に支障をきたしている！

巨大地震に備えた耐震対策の加速が必要！





# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 ダム設備の修繕・更新への支援

- 提言内容
- 1 流域における **インフラ老朽化対策** を推進するために必要な **予算を確保** すること。
  - 2 長寿命化計画に基づく **ダム設備の修繕・更新** を **補助事業の対象** とすること。

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に位置付けられたインフラ老朽化対策を実施中

ダムの機能を確保するための老朽化設備の修繕・更新

インフラメンテナンス事業の創設(令和4(2022)年度～)

長寿命化計画(H30～R29)に基づく**設備更新を確実に推進**

### ダム長寿命化計画

- ・ダム管理用制御処理設備の更新
- ・テレメータ設備の更新
- ・放流警報設備の更新
- ・放流設備の修繕・更新
- ・減勢工の修繕

低水放流設備の漏油状況



放流ゲートの発錆状況

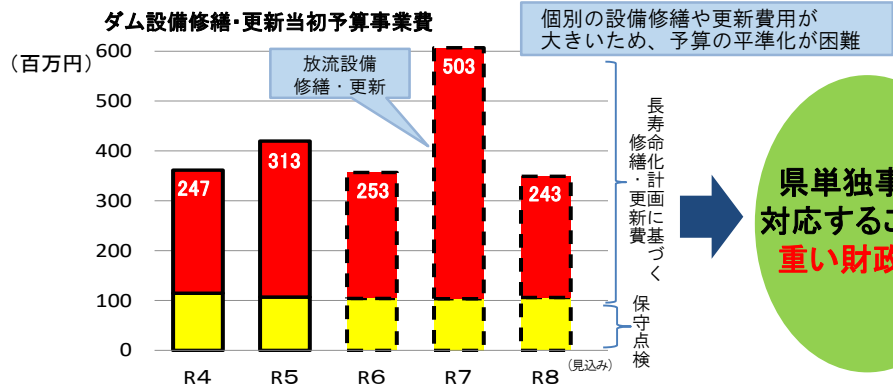


流域分野別の補助対象

分野	修繕・更新	改良
河川	○	○
海岸	○	○
砂防	○	○
ダム	×	○

**ダム管理設備の修繕・更新は補助事業の対象外!**

※単純な修繕・更新でも従前のものから機能アップする場合は採択



県単独事業で対応することは、**重い財政負担**

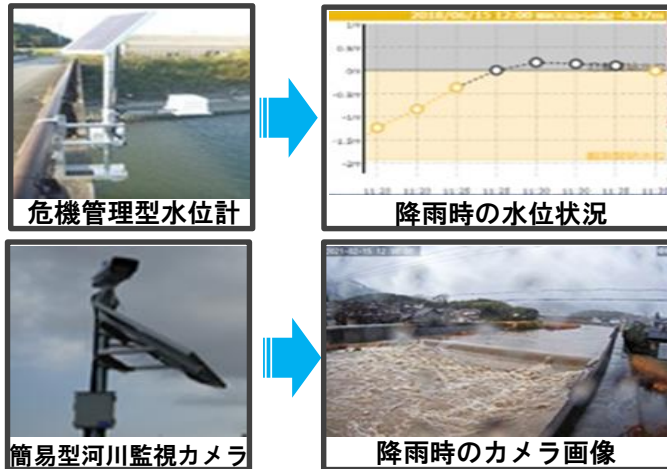
**長寿命化計画に基づくダム管理設備の更新を確実に進めるためには、補助事業(ダムメンテナンス事業)の採択要件の拡大が必要!**

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等河川DXの推進

- 提言 1 **危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの耐久性の向上**を図り、**更新に対して財政支援**を行うこと。
- 内容 2 **河川台帳のデジタル化**など河川DXに対して**財政支援**を行うこと。

## 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ

- 【国の取組】**
- 水管理・国土保全局の革新的河川技術プロジェクトにより、**従来品よりコンパクトで安価な危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラを開発**
- 【現状】**
- 県は、危機管理型水位計215基、簡易型河川監視カメラ57基を設置（R5.4現在）
  - 多数の河川を有しているが、ハード整備には長期間を要する状況
  - 今後の気候変動もふまえ、住民への情報提供や管理者等の即時対応を強化する必要がある。
  - ICTを活用した河川観測体制強化として、令和4年3月に「**河川DX中期計画2022～2026**」を策定



**5年後の目標**  
令和4(2022)年度～令和8(2026)年度  
重点監視箇所（水位計+カメラ）を  
**44箇所 → 102箇所**

- 【課題等】**
- 設置から一定期間が経過したが、更新時期を迎えても**支援する補助メニューが無い**  
⇒ **耐久性の向上を図り、さらに更新を支援する制度が必要！**

	R5末	R6末	R7末
5年が経過する水位計	120基	91基	
5年が経過するカメラ		4基	40基

5年未満で更新した水位計 7基（約6%）

## 河川台帳



- 【現状】**
- 占用物件や河川区域の確認作業は、紙資料では、非効率である。
  - 点検結果や工事完成図書などが、十分活用されていない。
  - 成果品からの台帳の新規作成も、規定が細部にわたり、手間と予算を要する。
  - 台帳等のデジタル化を支援する補助メニューが無い。

- 【課題等】**
- 台帳のデジタル化に向け、点群や簡易写真等についての規定を見直し、**規定の緩和を図ることが必要。**
  - 台帳等のデジタル化など**河川DXを支援する予算制度が必要！**

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 木津川水系直轄砂防事業の推進

提言  
内容

木津川水系直轄砂防事業について、住民の安全と交通機能確保のため**事業推進**を図ること。



## 実施箇所図（谷出地区・坂之下地区）

**整備すべき溪流は、まだ残っており  
引き続き整備が必要！**

凡例	
	砂防堰堤 完成
	砂防堰堤 実施中
	砂防堰堤 計画
	砂防堰堤 既設
	区域 土砂災害警戒区域
	区域 土砂災害特別警戒区域



**木津川水系直轄砂防事業の  
中期計画**  
平成28年から令和27年まで  
43基の砂防堰堤の整備を計画  
(奈良・三重両県分)

**砂防事業推進により**  
★人口8万人を擁す名張市の市街地  
★大阪・奈良・三重を結ぶ、  
**国道165号**（交通量約2万台/日）  
**近鉄大阪線**（名張駅乗降者約1万2千人/日）  
が土砂災害と氾濫から守られ、**住民  
と重要な交通基盤と利用者の安全が  
確保**できます。



**事業の推進と早期完成を！**

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 土砂災害防止のためのインフラDXへの支援

提言  
内容

土砂災害警戒区域指定などに資する地形図の高精度化、砂防指定地図及び施設台帳等のデジタル化など  
**インフラDXの砂防事業における取組**を加速できるよう、国からの**財政的な支援**を拡充すること。

## 数値標高モデル等の高精度な地形情報を活用した流域管理

### 【現状・課題】

- ・土砂災害警戒区域の二巡目調査
- ・土砂洪水氾濫対策計画策定
- ・山地での危険な土地改変の監視

などを行うには  
**広域をカバーする  
高精度な地形情報が必要**



### 三重県内

土砂災害警戒区域

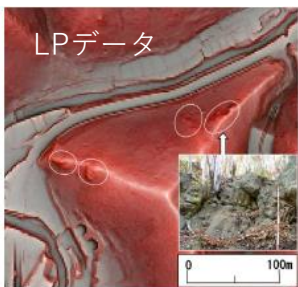
**16,208箇所**

土砂災害特別警戒区域

**15,932箇所**

今後も広域にわたる調査が必要！

高精度な土砂災害警戒区域の抽出  
地形比較による危険な土地改変の感知



流域内に堆積する土砂の  
迅速かつ効率的な把握



## 砂防施設台帳等のオープンデータ化

### 【現状・課題】

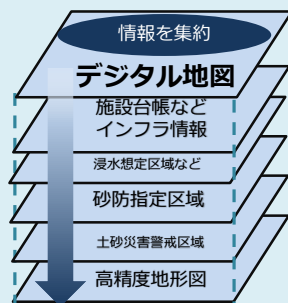
砂防指定地図  
台帳など膨大な紙資料

- ・砂防指定地図等は紙資料のものがまだ多く区域の確認にも苦慮  
住民サービスの質の低下を招く。
- ・インフラデータ、様々なハザード情報もつながりが無く、それぞれを十分に活用できていない。



**様々な情報を一元化したデジタル地図の構築が必要**

様々な情報を記載したデジタル地図のオープンデータ化



公開

～効果～

- 住民  
区域指定図やハザード情報など知りたい情報を直接容易に入手
- 民間事業者  
防災アプリの開発等、オープンデータを利用した住民サービスの展開
- 官庁  
地形データ比較による災害の早期把握が可能になり早期復旧へ

- ・土砂災害防止法基礎調査費にかかる補助率かさ上げ等の支援が必要
- ・高精度な地形図作成や諸情報のデジタル化を支援する予算制度が必要

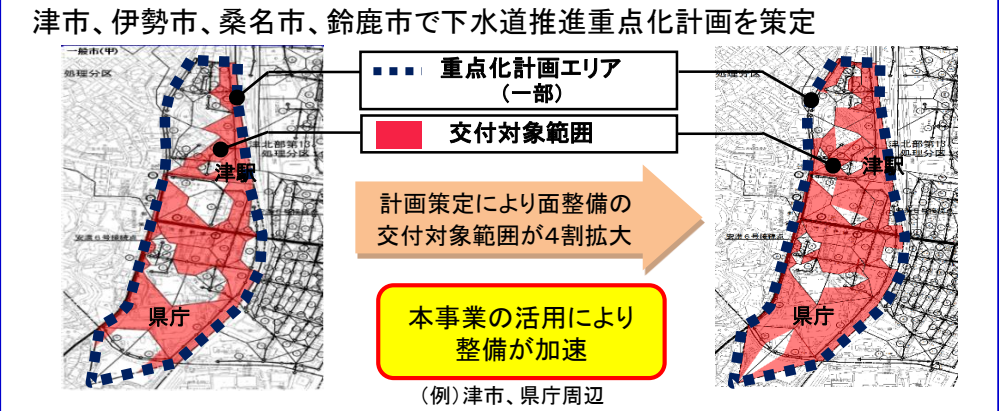
# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 下水道の整備および老朽化対策推進への支援

提言 内容	1 未普及地域の早期解消に向けた制度「 <b>下水道整備推進重点化事業</b> 」を <b>堅持</b> するとともに、促進のための <b>予算を確保</b> すること。
	2 「 <b>下水道ストックマネジメント支援制度</b> 」に基づき、老朽化対策が着実に推進できるよう必要な <b>予算を安定的に確保</b> すること。

## 1 未普及解消へ向けた制度の堅持及び予算確保

**現状**  
三重県の下水道普及率は、大幅に遅れている  
下水道処理人口普及率(令和3年度末) 全国平均80.6% 三重県58.9%

### 下水道整備推進重点化事業の堅持



**下水道整備10年概成(令和8年度末)に向けて本事業の堅持が必要**

### 下水道未普及解消の促進

県内23市町が下水道を供用しており、うち11市町が重点的に公共下水道の管渠延伸及び面整備等、未普及解消に取り組んでいる。

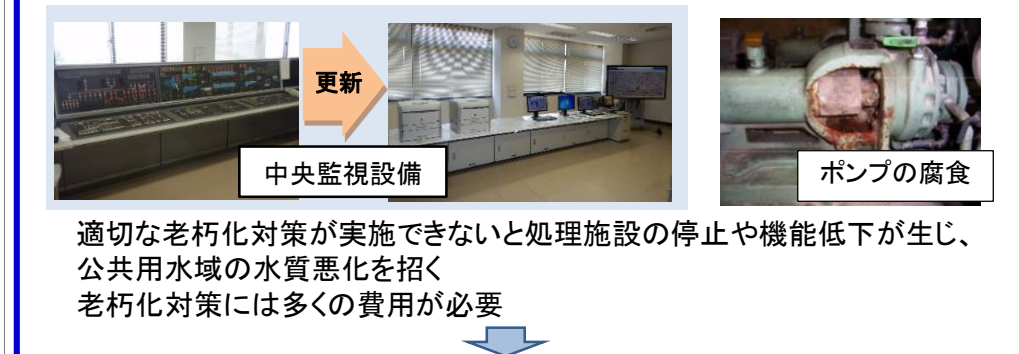
令和7年度末下水道処理人口普及率目標値 67.0%  
(三重県生活排水処理アクションプログラム中期目標)

**未普及解消促進のための予算確保が必要**

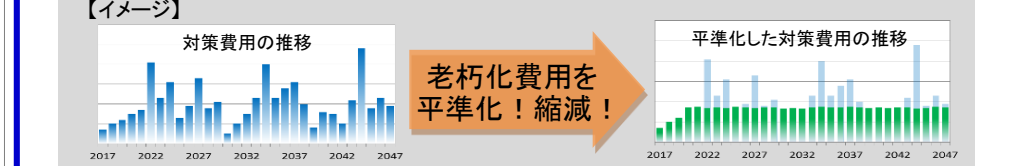
## 2 老朽化対策の予算確保

**現状**  
多くの処理場の設備が、老朽化により更新時期を迎えている  
設備更新率(令和3年度末) 7.7%

### 下水道ストックマネジメント支援制度に基づく老朽化対策の推進



適切な老朽化対策が実施できないと処理施設の停止や機能低下が生じ、公共用水域の水質悪化を招く  
老朽化対策には多くの費用が必要



令和2年度から下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化対策を実施

**支援制度に基づいた対策を進めるため、安定的な予算確保が必要**

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会基盤整備の推進 海岸保全施設・港湾施設の地震・津波・老朽化対策の推進への支援

**提言内容**

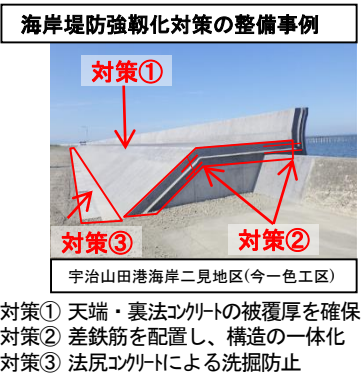
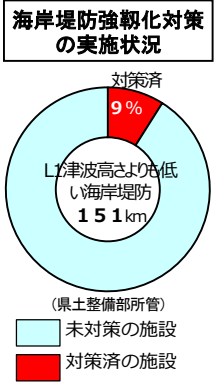
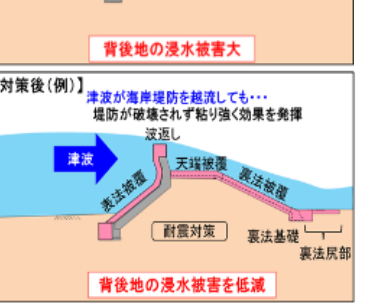
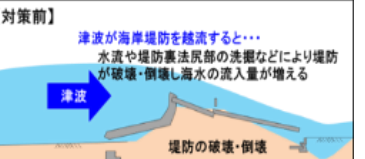
- 1 南海トラフ地震による被災リスクの高い「津波避難対策特別強化地域」において、緊急性の高い**海岸保全施設の地震・津波対策**を強力に推進できるよう、**予算を確保**すること。
- 2 **港湾施設の老朽化対策や地震対策**を強力に推進できるよう、**予算を確保**すること。

## 南海トラフ地震に備えた海岸堤防の整備

●南海トラフ地震  
今後30年以内の発生確率は70~80%!  
令和2(2020)年1月、国の地震調査委員会

＜三重県で想定される被害＞  
死者数約4万人、経済被害額約2.1兆円。  
県南部では、ほぼ全域で既設堤防を越える。

＜海岸堤防強化対策が必要＞  
特に、県南部では非常に大きな津波が短時間で襲来する。  
津波が堤防を越えた場合でも堤防を壊れにくくする対策を実施し、避難時間の確保を図る。



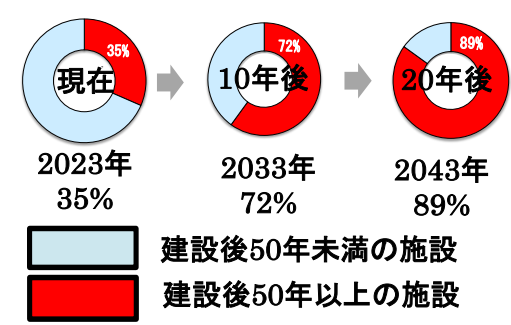
「津波避難対策特別強化地域」において地震・津波対策が強力に推進できるよう、予算の確保が必要!

## 地域の産業・経済を支える港湾施設の老朽化対策と地震対策

### 予防保全に向けた老朽化対策



### 建設後50年以上経過する施設の割合 (防波堤・岸壁・物揚場)



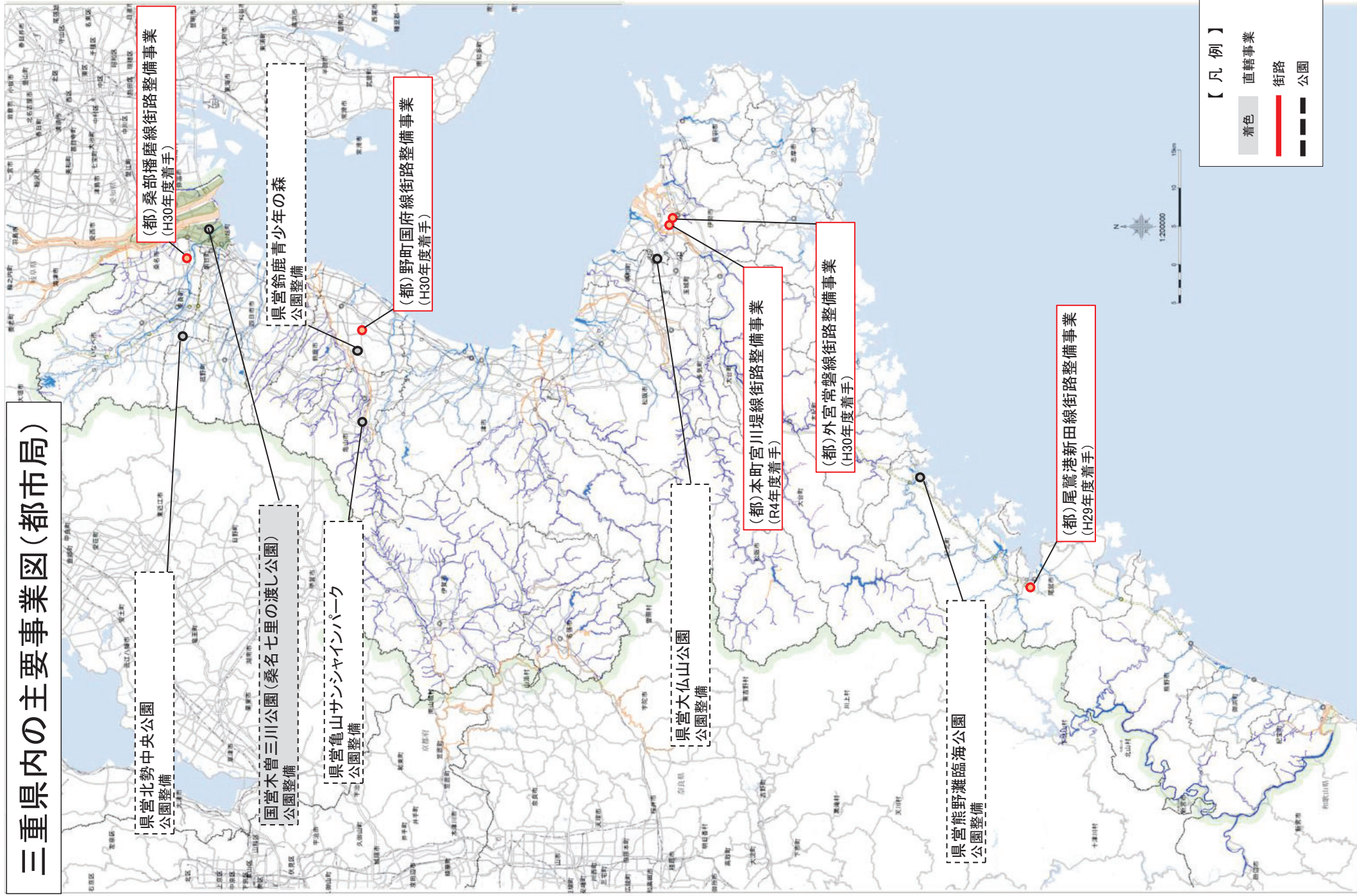
「事後保全」から「予防保全」に基づくメンテナンスへの転換を図るために老朽化対策が強力に推進できるよう、予算の確保が必要!

### 大規模地震時の緊急輸送を確保するための地震対策



経済を支える海上交通ネットワークの維持や緊急物資輸送機能を確保するため、港湾施設の地震対策(耐震化)が強力に推進できるよう、予算の確保が必要!

# 三重県内の主要事業図(都市局)



# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 国営木曾三川公園（桑名七里の渡し公園）の整備推進

提言  
 内容

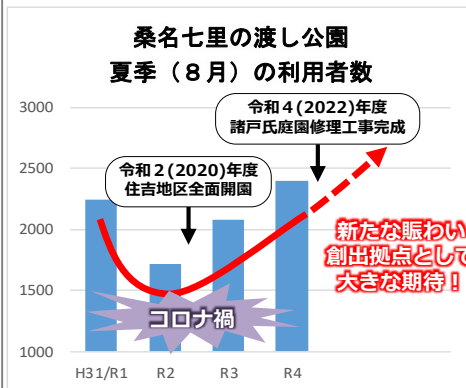
**国営木曾三川公園（桑名七里の渡し公園）の早期全面開園**をめざし、七里の渡し地区の早期工事着手を図ること。



## 桑名七里の渡し公園（七里の渡し地区）の早期工事着手を!



## ポストコロナに向けて地域活性化の拠点となる桑名七里の渡し公園





# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 広域的な集客力の強化に資する都市公園の整備への支援

提言  
内容

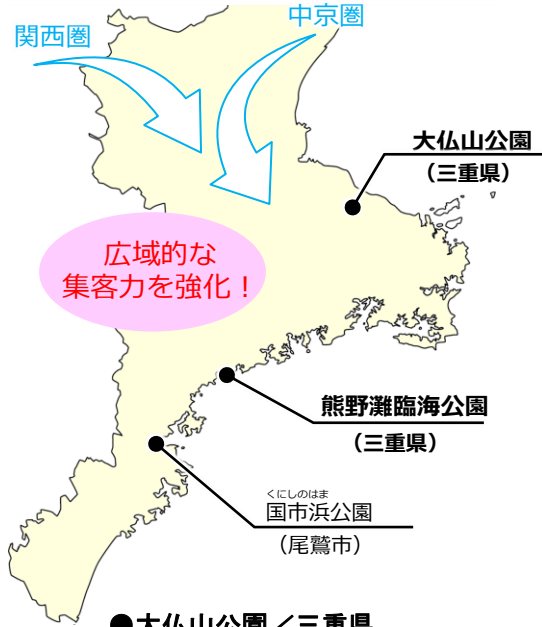
広域的な集客力を強化し、**観光等の誘客を促進**するための**都市公園整備の予算を確保**すること。

## 【広域的な集客力強化に資する新たな拠点づくり】

●熊野灘臨海公園／三重県

令和5年夏頃 完成予定

心身をリフレッシュできる  
アクティビティ施設を充実



高台広場整備  
(旧プール跡地)

避難路

新プール

海水浴場

プール跡地を高台広場として整備し  
集客力強化に資する利活用を検討

くにしのはま  
●国市浜公園／尾鷲市

東紀州地域の各市町と連携し  
スポーツ交流の新拠点を整備

●大仏山公園／三重県

子ども遊具を移設し  
利便性向上

スポーツ交流と子育ての  
拠点として再整備を検討

**新たな拠点づくりのための都市公園整備に係る予算の確保が必要！**

## 【官民連携による公園の整備運営に係る取組状況】

### ●ダイセーフォレストパーク（鈴鹿青少年の森）／三重県



民間のノウハウを活用し新たなにぎわい空間を創出

### ●熊野灘臨海公園／三重県



民間投資により集客施設を整備

**官民連携して整備運営に取り組み、にぎわい創出・集客エリア拡大を推進！**

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進

## 緊急輸送道路の無電柱化、通学路等の安全対策、都市公園の整備および老朽化対策の推進への支援

提言  
内容

- 1 大規模自然災害の備えとして、**緊急輸送道路の無電柱化**に必要な街路整備の**予算を確保**すること。
- 2 **通学路等の安全対策**に必要な街路整備の予算を確保すること。
- 3 大規模自然災害の備えとして、**防災拠点や避難地となる都市公園**整備の予算を確保すること。
- 4 **都市公園の老朽化対策**を着実に実施していくための予算を確保すること。

### 街路 緊急輸送道路の無電柱化

千葉県では**令和元年房総半島台風**の影響で、約2千本の**電柱が倒壊**し、停電の長期化など、住民生活に甚大な影響を与えた

台風や地震による電柱倒壊のリスクが軽減できる無電柱化に注目が集まっている

無電柱化を推進するためには多額の予算が必要！

電柱が立ち並ぶ  
外宮常磐線

神宮式年遷宮の祭事「お木曳き」にも利用される

伊勢の「お木曳き」行事(前回の写真)



### 街路 通学路等の安全対策

市街地の通学路等は、歩行者の利用が多く、車両の通行も多いが、歩道が未整備となっている箇所があり、歩行者の安全性が確保されていない

住宅等が密集している箇所も多く、用地補償に多額の予算が必要！

野町国府線の状況

通学路等の安全確保が課題



集合住宅等の建物を移転し、整備が進んでいる



### 都市公園 防災拠点等の機能向上

- ・南海トラフ地震の今後30年以内の発生率は「70~80%」
- ・激甚化・頻発化する自然災害等により全国各地で甚大な被害が発生

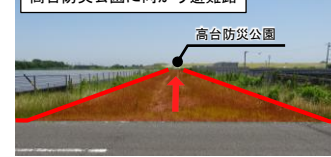
大規模自然災害の備えとして防災安全に資する都市公園整備の重要性は高まっている！

香良洲高台防災公園・避難路(津市)

高台防災公園(施工状況)



高台防災公園に向かう避難路



### 都市公園 都市公園の老朽化対策

- ・公園施設の老朽化が進み、公園利用者の安全・安心が確保できていない施設がある
- ・施設の老朽化により、南海トラフ地震等の大規模災害発生時に、十分な防災機能が発揮できない可能性がある

長寿命化計画に基づき、計画的な修繕・更新が必要！

北勢中央公園

対策前



浄化槽撤去

対策後



浄化槽設置

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 市街地における賑わいの創出への支援

- 提言内容
- 1 **ウォーカブルな空間**の形成に必要な**予算を確保**すること。
  - 2 **ゆとりある「駅まち空間」**の形成に必要な**予算を確保**すること。

## 都市再生 ウォーカブルな空間の形成 (まちなかウォーカブル推進事業)

人口減少、生産年齢人口の減少により、市街地の活力が低下

市街地に人が集まる動機や居心地の良さが必要！

「ウォーカブル推進都市」の募集に、本県および11市町（津市、**四日市市**、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、亀山市、**熊野市**、朝日町、明和町）が登録  
そのうち、**2市**が事業実施中

リージョンコアYOKKAICHI地区 中央通り（四日市市）完成イメージ

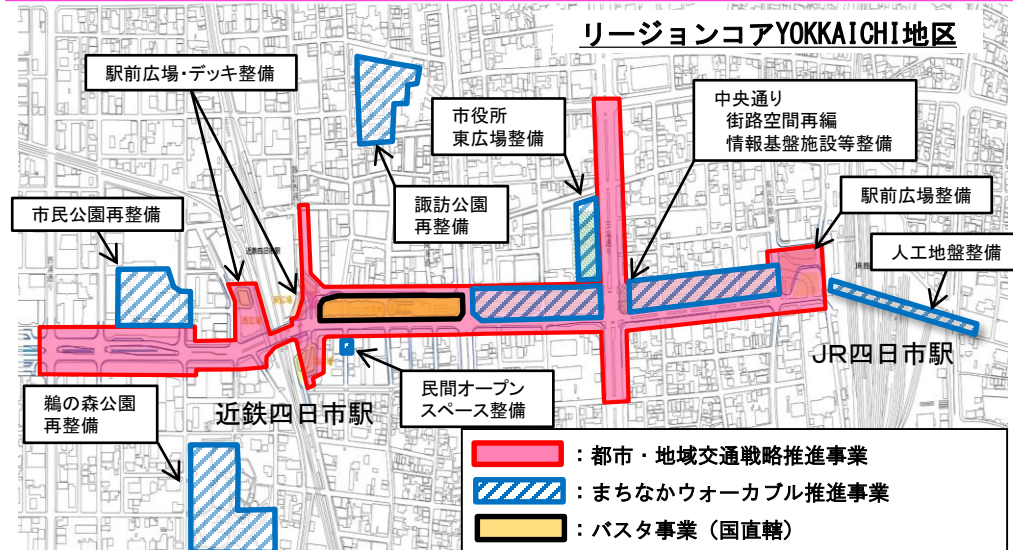


## 街路 ゆとりある「駅まち空間」の形成 (都市・地域交通戦略推進事業)

- ・ 駅前広場の交通動線が錯綜
- ・ 駅周辺に人が集う空間が不足
- ・ バス乗り場が分散

利便性・快適性・安全性の高いゆとりある駅まち空間の形成をめざす！

リージョンコアYOKKAICHI地区  
近鉄四日市駅周辺（四日市市）完成イメージ



# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 公営住宅の債権管理の強化、住宅・建築物の耐震化促進、 狭あい道路解消促進への支援

- 提言 1 **公営住宅法**に、官公署等へ債権管理上必要な場合の**照会又は協力を依頼することができる規定を整備**すること。  
 2 耐震性が不十分な**住宅や建築物**を解消するため、**耐震化促進**に必要な**予算を確保**すること。  
 内容 3 安全な市街地形成のため、**狭あい道路整備等促進事業**に必要な**予算を確保**すること。

## 公営住宅の債権管理の強化

公営住宅法に、債権管理に関する規定の整備を

背景 全国トップクラスの徴収率

	H29	H30	R1	R2	R3
三重県の家賃徴収率(%)	98.9	99.2	99.2	99.2	99.1
全国順位	3位	2位	2位	3位	3位

**高い徴収率を確保するためには、電話、文書及び訪問により頻繁に督促するなど、多大な労力とコストがかかっている。**

現状

家賃・駐車場使用料の滞納  
単身入居者の死亡  
居住実態が不明

関係機関での調査が必要

強制執行時：預貯金調査  
相続人不明時：住民票、戸籍調査  
居住実態不明時：住民票、出入国調査

公営住宅法には、債権管理に関する規定がなく、官公署等には調査又は照会に応じる義務はない。

問題点

**調査又は照会に関係機関が応じるかどうかは任意**

**滞納整理などの実効性が担保できない。**



【関係機関の声】  
公営住宅法に規定を整備してもらえれば、調査に応じることができるので、検討してください！！

要望

**公営住宅法に、官公署等へ債権管理上必要な場合の照会又は協力を依頼することができる規定の整備を！**

（例）廃棄物の処理及び清掃に関する法律第23条の5）

都道府県知事は、第二十三条の三に規定するもののほか、この法律の規定に基づく事務に関し、関係行政機関又は関係地方公共団体に対し、照会し、又は協力を求めることができる。

## 住宅・建築物の耐震化促進

住宅・建築物耐震化促進のために必要な予算確保を

現状

住宅・建築物の耐震化率(三重県)

住宅	86.7%	避難路沿道建築物	26.3%
		(25棟/95棟)	

問題点

耐震性が不十分な

住宅 (住生活基本計画) 2030年までに	避難路沿道建築物 (国の基本方針) 2025年までに
-----------------------------	----------------------------------

**おおむね解消する必要がある**

住宅、避難路沿道建築物への耐震化の支援



- ・耐震診断補助
- ・補強設計補助
- ・耐震改修補助
- ・除却補助

要望

**居住者、利用者、まちの安全・安心のために必要な予算確保を！**

## 狭あい道路解消促進

狭あい道路解消促進のために必要な予算の確保を

問題点

セツバック部分が未整備だと  
通行上危険



要望

**安全な市街地の形成のために必要な予算確保を！**

狭あい道路整備等促進事業

- ・測量費
- ・分筆、登記費
- ・工作物等の除却、移設費
- ・道路後退部分の舗装工事費

